

創立三十年周年

記念誌

目次

あいさつ

埼玉県サイクリング協会会長 相川 曹司……………一

祝 辞

(財)日本サイクリング協会会長 安井 謙……………二

埼玉県知事 畑 和……………三

埼玉県教育委員会教育長 石田 正利……………四

埼玉県青少年団体連絡協議会 会長 渋谷 昌彦……………四

埼玉県自転車軽自動車商協同組合 理事長 小沢 福次郎……………五

SCA創立二十周年によせて……………六

埼玉県サイクリング協会理事長 星野 清……………七

SCA創立二十周年記念事業報告……………八

SCA創立から未来へ……………八

誕生から成長への苦難……………指導委員長 杉山 弘……………十

SCA足跡……………総務部長 鶴谷 憲三……………十一

SCA充実期から未来へ……………副理事長 渡辺 広次……………十三

第一回SCAラリー……………普及指導員 大畑 貞夫……………十四

第十七回全国サイクリングラリーの回想……………副理事長 渡辺 広次……………十六

第十回関東甲信越サイクリングラリーの思い出……………企画部長 原田 知治……………十八

SCAと青年の家……………普及指導員 大野 文雄……………十九

リーダー養成について……………関 口 充……………二十

中央指導者講習会に参加して……………松村 繁……………二十一

サイクリング相談の店……………企画副部長 近藤 繁……………二十二

埼玉県青年洋上大学……………一級リーダー 伊藤 育功……………二十三

詩……………高田 征洋……………二四

埼玉県サイクリングリーダーズクラブのあり方……………総務副部長 戸張 岩男……………二五

サイクルOL……………副理事長 渡辺 広次……………二六

SCA事業報告書より……………熊谷市 藤野 寛……………二七

青春訓・SCAの一員として……………千葉 治……………二八

十年を振り返って…………………………二八

自然を考え直す……………藤森 寿雄……………二九

ロードマンシップその後……………杉山 弘……………三十

紀行文・中津川(奥秩父)……………関 口 章……………三一

クラブ紹介…………………………三二

浦和サイクリングクラブ…………………………三二

浦和ベルフレンズクラブ…………………………三二

秩父サイクリスツリーリングクラブ…………………………三二

かざぐるま…………………………三三

川口市サイクリング連盟…………………………三三

九閑鳥クラブ…………………………三三

久喜サイクリスト・ユニオン…………………………三四

越谷サイクリングクラブ…………………………三四

サイクリングクラブ地平線…………………………三四

埼玉大学サイクリングクラブ…………………………三五

狭山サイクリングクラブ…………………………三五

しらさぎサイクリングクラブ…………………………三五

たじまスポーツサイクルクラブ…………………………三六

羽生第一サイクリングクラブ…………………………三六

バッテリーの隣の家…………………………三六

寄居サイクリングクラブ…………………………三七

らくだサイクリングクラブ…………………………三七

わらびサイクリングクラブ…………………………三七

春日部サイクリングクラブ…………………………三八

土合サイクリングクラブ…………………………三八

愛輪遊学集団…………………………三八

加盟グループ一覧表(順不同)…………………………三九

SCAの組織と運営…………………………四一

埼玉県サイクリング協会規約…………………………四一

組 織 図…………………………四二

関連機関団体機構図…………………………四三

SCA五十一年度役員名簿…………………………四四

指導委員会名簿…………………………四五

SCA二十年のあゆみ…………………………八〇三五



創立二十周年に寄せて

埼玉県サイクリング協会

会長 相川 曹 司

星野君らの骨折りで協会が発足して福永先生が初代会長になりその後を受けて、お仲間に入れてもらったのですが、なんのお役にもたらずに二十周年を迎えることになってしまったわけで申し訳ない次第です。

創立の頃は終戦後の虚脱状態から朝鮮動乱を経て、漸く本格的な経済復興にとりかゝる時期でした。協会の運営は本当に熱心な少数の会員によって細々と運営されて来たと云う感じでした。

然もその後の経済成長は所謂マイカー時代に突入して、車万能社会を出現しましたから、道路は自動車と人以外の要素を無視したかたちで、サイクリング活動を楽しむ前にいかに交通の安全をはかるかが指導者を悩ませ続けて来たと云えます。

もう十五年も前のことですが、アムステルダムを始めて訪れた時、人道と自動車道の間に自転車専用道路が整然と処理されているのを見て思わずうなりました。

思うにまかせない日本の都市整備の現況ですが、市長在任中に駅周辺の「自転車駐車場」を開設したのも協会に關係を持った意識があつての発想でした。

さて車社会の行き過ぎに対して、社会全体が一つの反省期に入ってきたのにつれて、協会の会員、組織も拡大発展して、関東や全国のラリーをこなす力を持つ迄にいたりました。

こゝ迄協会を育てて来た推進力の先輩役員諸氏に心から敬意を表し、成人式を迎えた協会が限りなく発展することを期してやみません。



創立二十周年を祝って

(財)日本サイクリング協会
会長 安井 謙

創立二十周年記念おめでとう。貴協会は設立以来二十年間にわたり幾多の困難を克服して、会員の増大、指導者の養成、関係機関・団体との協力体制の整備等、協会の育成強化に非常な苦勞を積重ねて来られ、その結果、今日のような立派な協会に成長されました。これも会長、理事長始め関係各位の絶ゆまざる努力の成果であり深く敬意を表するものであります。

埼玉県協会は、埼玉県のサイクリストによつて構成されている団体であると同時に、当協会の埼玉県の支部的性格をも合せもつ団体でもあります。従つて会員であるサイクリスト諸君のためのいろいろなサイクリング行事を計画実行せられておることはもちろんですが、貴重な時間をさき、しかも手弁当で当協会の目的とするサイクリングの普及推進事業にも積極的にご協力していただいている指導者各位に厚く御礼申し上げたいと存じます。

これからの日本の社会は、世界の先進工業国共通の課題である公害の防止、文明病の克服等に挑戦しなければならぬ運命にあります。

サイクリングが欧米各国の間で、国民のだれでもが気軽にできるトリム運動の有力な手段として高く評価されているように、いつでも、どこでも、だれでもができ、自然に親しみ、体力・健康づくりに役立つサイクリングこそ、人間にとって最高のスポーツ、レクリエーションであります。

どうか貴協会もこのすばらしいサイクリングの輪を拡げ、一人でも多くの仲間を増やすことにこれから大いに力を入れていただきたいと存じます。

最後に貴協会が今後ますます発展されることを祈つてお祝いの言葉といたします。



祝 辞

埼玉県知事 畑 和

昭和三十一年十月、県内サイクリストの期待を担って、埼玉県サイクリング協会が創立されて以来、ここに二十周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

今日、サイクリングは、いつでも、どこでも、そしてだれでもが、それぞれ体力に応じて手軽に楽しめる野外スポーツとして、全国的にめざましい普及を遂げておりますが、これもひとえに、日ごろサイクリングの国民的普及にお力添えをいただいている関係者の御努力のたまものと深く敬意を表しております。

埼玉県サイクリング協会におきましても、サイクリングをとおして、県民の健全な身体と精神を培い、明るく健康的なサイクリングの普及発展と、会員相互の友情を深めることを目的として、ビギナーの指導をはじめ、指導者養成のための講習会の開催、会員相互の連絡や機関誌の発行、モデルコースの調査、県内コースガイドの整備など各種の事業を積極的に推進しておられるとのことでありますが、特に次代を担い、明るい社会のバイオニアである青少年の健全な育成の見地からいたしましても、誠に感謝に堪えない次第であります。

ところで、首都圏の中にあつて重要な地位を占める埼玉県は、人口の急増と著しい都市化の広がりに見舞われ、農業県から工業県、都市県へと急速に移行しつつありますが、県民の懸命な努力によって、なお歴史をしのぶに足る自然を残し、また習俗、行事、貴重な文化財など各地に数多く抱えております。

サイクリングは、こうした郷土の自然と、歴史や文化に接し、ともすれば失われがちな人間性を回復する上で最適のレクリエーションではないかと思ひます。

埼玉県サイクリング協会が、創立二十周年という意義深い年を契機として、更に内容を充実され、大きく躍進されるよう期待してやみません。

終わりに、会員の皆さんの御健勝と一層の御活躍をお祈りし、お祝いの言葉といたします。

創立二十周年によせて

埼玉県教育委員会教育長

石 田 正 利



埼玉県サイクリング協会が創立二十周年を迎えられましたことはまことに喜ばしく、心からお祝い申し上げます。

協会創立二十周年という記念すべき時に志を同じくする方々が相集い将来の発展を誓い合うことは本当に意義深いものがあると存じます。

近年技術革新にとまなう社会の変容は著しく、これにつれて国民の健康や体力に対する関心が高まり、その結果スポーツやレクリエーションへの欲求が急激に増大しております。

県当局といたしまして、やがて五〇〇万人になんたとする県民の一人一人がより健康で明るく豊かな生活を営むために日常生活のなかで「いつでも、どこでも」個人の適性や能力に応じてスポーツ活動に親しんでいただけるよう努力いたしているところですが、施設や指導者等の面で未だ必ずしも十分とは申せません。

サイクリング協会が早くからこの点に着目され指導者養成をはじめ各種の事業を積極的に推進され、広く県民の間に健全なサイクリングの普及に努力されて来た功績はまことに大なるものがあると存じます。そして、自からの力で銀輪を走らせることよって体力を高め、自然に親しみながら友情を育てるバイコロジ運動はこの目的に最適なスポーツの一つであります。

どうか今後とも健全なバイコロジ運動の普及発展のために御精進されまして県民の体力づくり、青少年の健全育成に貢献していただきますよう御期待申しあげる次第であります。

終りに会長さんはじめ関係各位の長い間の御労苦に対し深甚の敬意を表すると共に、埼玉県サイクリング協会のますますの御発展を祈念して挨拶いたします。

創立二十周年を祝して

埼玉県青少年団体連絡協議会

会長 渋谷 昌彦

創立二十周年を迎えられました埼玉県サイクリング協会の皆さまに謹んでお祝いを申し上げます。

埼玉県が埼玉県サイクリング協会を迎え早や四年になります。顧みますと、埼玉県への加入申請は六、七年前より提出されており、何回か埼玉県連の代議員会で協議したのを当時の代議員の一人として思い出します。当時は、今日のようなサイクリングに対する認識が無であつたためか、サイクリングが遊びの段階であり、そのサイクリングと青少年活動との結びつきについての疑問とか、サイクリング協会は埼玉県の自転車商の傘下にある営利的な面が……という議論が交わされました。

時の流れでしようか、高度成長と自動車・自然破壊そしてオイルショック。この変化のなかで自転車のみなおされ、サイクリングの余暇利用と自然との結びつきに対する多くの人の理解のもとが一つあると思います。時の流れはありますが、貴協会が今日にいたる道は、幾多のご苦労があつたことと推察いたします。なにはともあれ、貴協会の不断の努力が二十年という歴史を刻むなかで、サイクリングの普及と優秀な指導者の育成があつて今日の隆盛をみたものと考えます。

健全な青少年の野外活動としてのサイクリングは今後も大きく発展すると存じます。青少年活動にとつて多くの人の理解と協力が必要であると同時に、なんといつても活動推進者の養成・確保にあると考えます。二十年の伝統の中から有能人材を多数有している貴協会はこの点からみても大いなる発展をみるものと思います。

二十周年本当におめでとうございます。

輝かしい二十年のあゆみ

埼玉県自転車軽自動車商協同組合

理事長 小 沢 福次郎



機関の先見の明に深く敬意を表する次第です。

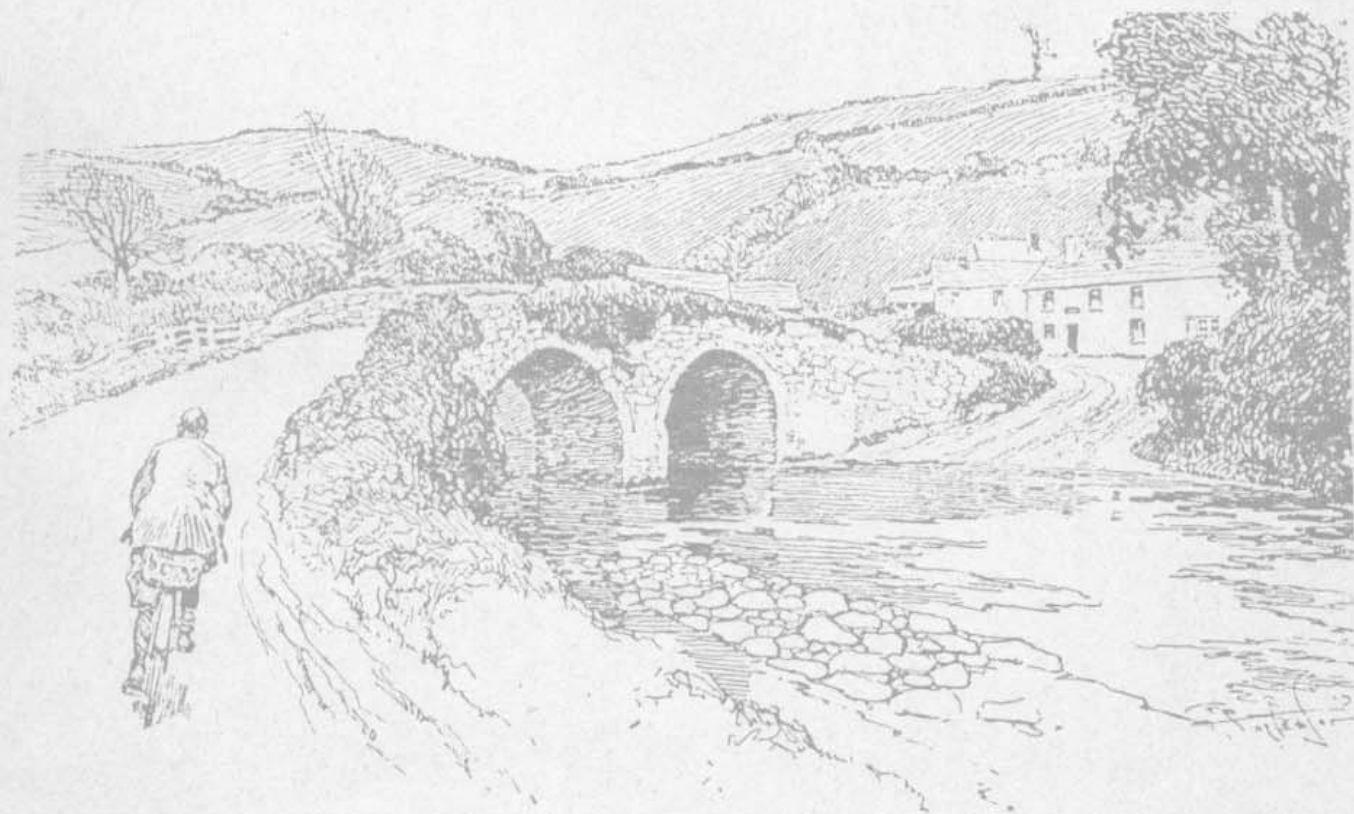
今日ほどサイクリングという言葉が日本のいかなる土地と言えども浸透した言葉はないでしょう。

最近バイコロジ―運動と云う新語が出てまいりましたが、このバイコロジ―の言葉の意味については補足説明をしなければ未だ一般にはわからない向きもあるのが現状です。

サイクリングという言葉は日本語として定着し、幼稚園児に至るまで理解されて居ります。そもそもバイコロジ―運動そのものは元祖のサイクリング活動があったればこそと思慮されます。

今後尚皆様のご尽力により、村から町へ、町から一般大衆へと、日常生活の一部としての密着したサイクリングの輪を大きく拡げていただきたいと念願する次第であります。

創立二十周年を御祝い申し上げると共にサイクリストの皆々様の御健勝を祈り上げます。



SCA創立二十周年によせて

埼玉県サイクリング協会理事長

星 野 清

昭和三十六年、スポーツ振興法が制定され、野外活動の一環としてのサイクリングが、国民の心身健全化のため普及奨励すべきスポーツであると明文化された。

「自転車乗用は循環器、呼吸器、消化器および神経系統の機能を活発にする、万人に好適な運動である」とは米国のP・D、ホワイト博士の言、また西ドイツの標語に「トラック一台の新車より自転車一台更に同国の厚生省は「子どもを交通事故から守りたいならば早く自転車に乗せよ」といっている。人間の運動神経の機能は五、十才の間に九十%が発育し、筋力は十、十八才の間に八十%が上がる。生体学からも自転車乗用の効果はすばらしいものがあり、野外活動としてのサイクリングは自力で大自然の中を走行するので自主性を育て、事前の準備・反省をとおして計画性の重要さも体験させられる。また自然観察、人情風俗、伝統、地理、歴史等社会科的探究や環境愛護の涵養にも役立ち、グループサイクリングによって楽しい共同生活の規律を理解し、豊かな人間関係を築き、協力・奉仕の精神をも培かわれる。

昭和三十一年十月二十日、熱意ある県内サイクリスト達によって、我が埼玉県サイクリング協会が設立された。

中央の（財）日本サイクリング協会の地方支部を兼ね、関東甲信越ブロックの一協会として、加盟グループを正会員とし個人会員も合せ擁している。

加盟各グループから一名づつの評議員で大綱が審議決定され、更に

二名づつの選出理事による企画部・総務部が構成され、それぞれ部会をもち、またJCA講師、普及指導員の有資格者での指導委員会が指導・育成に当り、二部一委員会の正副が常任理事として常務を執行している。

ここで特筆すべきは、従来執行の中核である事務局が、永年理事長宅或は県自転車組合に依存していたが、協会活動の実績が認められ、県青少年課の特別配慮によって五十年十月から現在の浦和市岸町の埼玉県青少年会館三階に事務局を構えることができたことである。

全国の協会事務局の中でこのような単独自主運営の事務局型態は埼玉県だけではないだろうか。

ために用品、書籍等の販売、給与に関して需品部を事務局内に設置し会員の便宜をも図っている。

逆のぼって四十八年、秩父で全国ラリーを主管した際、五十余本の半永久的なサイクリング道標を設置した。今なお訪れるサイクリスト達に、喜ばれ活用されていることを遠く耳にするとき、あの苦しかった大会運営の想い出も「地域還元ができた」と、何か温かいものが胸に迫ってくるような気がする。

ビギナーの育成指導を図り、サイクリストの福祉向上、環境の整備・保全を目標に事業を進めている協会として、この成人式は会員全体の連帯感を強め「飛躍の第一歩」でもなければならぬ。

幸い多くの良き同志を得て、ますますの発展に努力する意欲を燃し「満才の協会」に万才を叫び共に喜びたい。

SCA創立二十周年記念事業報告

記念式典

記念式典を五十一年九月十二日（日）

市民体育館で挙行。

次の方を特別功労者として表彰することになった。

星野 清

鶴谷 憲三

杉山 弘

なお協力功労者二十一名には感謝状が贈られる。

記念品

全国ラリー、ブロックラリーと、SCAの記念品は実用価値充分なサイクリスト用でと好評を博したが、今回はラリーと違うので公募作品を参考に少し趣向を変え文鎮に決定した。

記念誌

SCA創立から今日を迎えるまでの活動状況や苦勞談を多く載せることにした。又、

二十年のあゆみは過去の事務局日誌から抜粋編集した。

写真コンテスト

応募数五十枚の内から厳正なる審査の結果次のかたが優秀と認められ、式典当日表彰することになった。

◇カラーの部

特選 国府田 正美

準特選 千葉 治

入選 鈴木康夫 板倉好幸

飯塚政夫

◇白黒の部

特選 渡邊 廣次

準特選 藤井文雄

入選 戸張岩男 近藤繁男

千葉 治

県内モデルコースガイド作製

県内サイクリングモデルコース（二十コース程度）の調査を行い、今年度中にコースガイドを発行する予定

二十周年を記念して

今後新たに行う事業

一、優秀賞の復活

優秀サイクリスト賞（男女）、最高高度賞、最高距離賞、コース開拓賞の表彰制度を復活する。

二、グループ表彰の新設

年間を通じ、各種事業、行事等の参加協力の優秀グループを表彰する。

三、クラブラリーの新設

本行われた浦和サイクリングクラブ主管のクラブラリーの良さを、当協会加盟クラブ間の交流を深めるため計画する。

四、その他

協会も成人になったのではたちを迎えた会員を祝福する催しを計画している。

SCAの創立から未来へ

誕生から

成長への苦難

指導委員長

杉山 弘

今日、埼玉県サイクリング協会（以下SCAと言う）創立のきっかけと成ったと云うのは、昭和三十一年に、その当時すでに誕生していたグループの全国代表者会議が上野の精養軒で開かれ、そこに同席した本県関係者によつて互いの親睦と交流を深めようとの希望が生まれて、SCA設立の気運へと発展したと云われる。第一回の設立準備委員会が、同年九月十八日に大宮で開かれ、当日参加したのは

一川口サイクリング連盟 二浦和サイクリングクラブ 三浦和市サイクリング協会（埼玉サイクリングクラブの浦和支部から生まれた）四大宮サイクリングクラブ（同じく大宮支部から生まれた）五川越サイクリングクラブ 六北本宿サイクリングクラブ 七行田サイ

クリングクラブ 八狭山サイクリングクラブ、以上8クラブに地域教委関係者であった。グループ規模も、大は百名を越え、小はほんの数人と云うものまであった。九月二十二日の第二回の会合で主な基本決定をし、設立趣意書を発送、その創立総会を同年十月二十日に大宮商工会議所で開催、会則を承認し次の役員を選出した。

会長（初代）福永健司、副会長大沢良次（行田CC）、同 江川実（浦和協会CC）、同 横山隆二（川越CC）、他に常任理事（各クラブ代表者一名宛）計八名、理事（各クラブ一、二名宛）計十一名、なお、当時の役員で今なお活躍しているのは、常任理事で杉山弘（現指導委員長）、理事で星野清（現理事長）、同じく鶴谷憲三（現総務部長）の三氏に過ぎない。当日ただちに理事会を開催し、県内グループ結成促進運動等の事業に着手することを決定。

両氏を講師に招き、JCA公認リーダーの養成講習を実施、同月に

当時ほとんど一般に知られていなかったスポーツ車の普及宣伝を目的に各メーカーの協力で、埼玉サイクリングセンターを大宮に開設、部品、用品等も展示した。五月下旬には、第一回の県内サイクリスト大会を大宮公園で集中形式で開催、更に同年八月、我が国で最初の全国ラリーが静岡県浜名湖で実施され、本県から数名が参加、十月中旬には、JCA委託事業として、関東地区コースガイド8ミリ映画県内版を作成と、まずまずのスタート。翌三十三年はJCA全国代議員会に代表を派遣、役員を送る。その年の全国ラリーは大坂の浜寺で行われた。九月にはJCAリーダー研修、十一月JCA講師研修に星野清、中村祥一郎両氏を推薦、委嘱を受ける。同年十一月、当時主力の一つ川越クラブが崩れ去る発端、クラブの中心人物、SCA理事五十嵐丈夫氏の転地の送別サイクリングが越生まで行われた。

昭和三十四年、この年事務局が

SCA二十年のあゆみ

昭和31年度

- 9・15 創立第1回準備委員会
- 9・22 創立第2回準備委員会
- 10・20 創立総会・第1回理事会

役員表

名誉会長 栗原 浩
会長 福永 健司
副会長 大沢 良次

理事 浅井 博

監事 浅子 広

会 計 安岡 省三

入江 保雄

大島 秀昭

河井 善昭

黒沢 節子

齊五沢弘道

杉山 弘

福岡 庄作

鈴木 金一

監事 鈴木 博充

会 計 鈴木 博充

理事 会

11・24 大宮

12・29 クラブ結成運動趣意書・ポスター作成発送

1・26 サイクリング指導者養成合宿講習会

3・23 大宮ユニスコ村

大宮

大宮

大宮から浦和に移転、六月第一回SCAラリーが正丸峠ガーデンハウスのパンガローに一時泊して実施、秩父市内を経て定峰峠又は長瀬、寄居を経て小川町に集結解散、七月SCAラリー制定、リーダー委員会設置、養成講習会開催、SCA旗九月制定、十月には機関誌「むさしの」創刊。十二月SCA

以後の大会も会合もほとんど開催されず、今日のブロックラリーは、四十年に改めて東京を皮切りに始められたものである。第二回県民サイクリング、第二回SCAラリーを県自転車会館(大宮)に一泊して、SCAラリー研修を兼ねて開催、翌三十六年を迎えた。

臨時大会として主力クラブの北本宿(現在の北本市)で開催され、二代目会長に相川曹司氏が推挙され、引続き青年研修所に一泊、創立五周年記念ラリーが行われた。この頃より、浦和クラブと県下のサイクリング界に勇名を馳せ、サイクリングにも地道な活動を続けた川口サイクリング連盟が主力的役割を果たすクラブとして台頭する。

- 3・23 常任理事会 大宮
- 昭和32年度
- 4・27 JCA公認リーダー講習会 大宮
- 5・11 集中サイクリング企画委員会 大宮
- 5・26 県内サイクリスト大会(集中サ) 大宮
- 8・17 第1回日本サイクリング協会 全国ラリー 静岡(浜名湖)
- 9・1 埼玉県サイクリング普及協議会 大宮
- 10・1 楽しい記念スタンプ集めサイクリング 大宮
- 12・15 コースガイド映画撮影 正丸・古利根
- 2・8 JCA32年度全国代議員会 東京
- 3・5 JCA常任理事会 東京
- 3・9 JCA第1回全国理事会 東京
- 3・19 JCA臨時代議員会 東京

「むさしの」創刊。十二月SCAラリー委嘱、なお八月には第三回全国ラリーが岡山県倉敷で行われ、第一回国立公園大会が日光で開催、野外活動班としてサイクリストも参加し、やがて今日の輪行許可への第一歩を作る活動となる。明けて三十五年、年頭に新春サイクリングを実施、春四月にJCA公認リーダーを対象に、日赤埼玉支部の好意で救急法の研修を行い、更に六月には、それを進展させた救急員養成特別講習を実施、資格取得を計る。また同月、全国ラリー神奈川大会が三浦半島を中心に行われ、本県より多数参加への口火を切る。この年、SCA史上特筆すべきことが企画され実施された。当協会を中心に初めての関東甲信越ラリーが開催されたのである。大会そのものは、台風シーズンに巻き込まれ、不成功に終わったが、八月のこの二日間は担当した当協会にとって、内部結束を図る上で大きな成果を得たと云えよう。引続き十一月には、次年度大会開催引継ぎの為に関東ブロック連絡協議会を発足、然し、それ

浦和市協会Cが解体、狭山クラブの消滅などである。更に大宮クラブの消滅と埼玉クラブ関係の選出基盤を失った星野事務局長(現理事長)にとっても大変な時期であった。しかし、草加クラブと云う吉川製作所の社員グループを主力とした若者の台頭と、エタニットパイプの社員を主軸としたユースのグループ、SCATCが加わったが、それもやがて当時実力的に最も有力なグループ川越クラブと前後して消え去った。

翌三十七年は、県体協の一部組織であったレク協の改革があり独立した。七月、第二回目のJCAリーダー養成講習会をSCAラリー研修を兼ねて実施。全国ラリーは第六回を宮城県仙台で開催、東北での最初のラリーとなる。この頃には県内でも秋の県民サイクリング等が年中行事として定着し始めた。この年のSCAラリーは十一月、川越の根つ子家に若い根つ子の会の好意で一泊で実施、またSCAは優秀サイクリスト賞表彰規定も制定。その後数年間この賞は、多くの若いサイクリストに喜びと励ましを与える大切な表彰となった。その反面、内部では、生まれてまもない埼玉サイクリングツッパリングクラブ(SCTC)がその姿を消して行ったのである。そして漸く忍耐の数年を迎えることとなる。

- 昭和33年度
- 6・27 JCA第2回全国理事会 東京
- 8・28 第2回日本サイクリング協会 全国ラリー 大阪
- 8・25 JCA第2回代議員会 大阪
- 9・14 JCA公認リーダー研修会 川越
- 11・16 五十嵐理事を送る惜別サイクリング 川越
- 11・21 JCA講師講習会 東京
- 1・22 新春懇親会 北浦和
- 1・25 新春懇親会 北浦和
- 5・8 新緑の奥多摩コース・ダウンヒルを楽しむ 小河内ダム
- サイクリングの集い 小河内ダム

SCA足跡

総務部長

鶴谷憲三

昭和三十三年頃までのサイクリングブームも下火になり、協会としては三十四年頃より、サイクリングの普及発展に全力をあげる時期であると確信し、各関係団体に呼びかけ、県教育委員会と共催で、正しいサイクリングの普及発展に努力することになった。

各種団体の指導者講習会、研修会、サイクリング教室、及び野外活動の一環としての青少年リーダーサイクリング講習会等がそれぞれあり、これ迄毎年のように実施してまいりました。又、これらと並行して、県民に対するサイクリングの育成発展、身心の健全育成と体位向上に努力しつつ歩んできた次第です。

又、日本サイクリング協会に先がけて、サイクリングリーダー講習会、研修会、検定会等を実施し、初心者指導、グループ活動の育成に励むべき人材を育ててまいりました。

そのような中にも、年一回の協会展主催のサイクリングラリーは大

変奏しいものであった。

一泊二日の日程でキャンプをしたり、寺の本堂、又は運動場の合宿所を利用して宿泊ラリーを実施し、グループ相互の親睦と友情を深め、又ある時は、中央より講師を迎えてサイクリングの知識を伝授していただいた。

各種工場の見学をした想い出も多くあるが、あるラリーでビール会社の工場見学を終って、工場内講堂で、サイダー、ジュース、それにビールをつまみ付で御馳走になり、皆の顔が真赤になってしまいい、其の顔で宿泊地までサイクリングをした事もあり、現在の交通規制のきびしい今では夢みたいな話で、今日では絶対に出来るような事ではありません。

自転車組合に呼びかけて、サイクリング相談の店の育成指導もその頃から始め、講習会、研修会を実施して、正しいサイクリングを通じての青少年育成に当たっていただけに、業界人と共に励んでまいりました。

協会の役員会は、職業その他色々な関係上、夜の会合が主で、場所を決まって星野理事長宅を無理にお借りして開いておりました。

会合は夕方から始まり、会議が終るのは、いつも夜中の十二時、一時頃になってしまいます。正しい

サイクリングの普及発展、協会運営、行事等の相談が主な内容ですが、不平を言う者もなく、良く続いて来たものだと思心している次第です。又、それだけお互いに知識の向上を図る上で意義のある会合であった訳です。

県外の関係団体の行事には、その都度ふるって参加協力し、他県のサイクリスト以上にマナーには十分に心して、輝やかしい成果をあげ、各県に対し埼玉県サイクリング協会の名声を高めて来た次第であります。



5・9	理事会	北浦和
6・6	役員会	北浦和
6・20	第1回SCAラリー	北浦和
7・11	SCAリーダー制定	日光
7・20	第1回国立公園大会	日光
8・8	加盟クラブ代表者会議	北浦和
8・15	第3回日本サイクリング協会 全国ラリー	岡山
9・15	SCAリーダー委員会	北浦和
9・19	協会旗披露並びに新役員会	自治会館

役員表

顧問	福永 健司	大野 健雄
相談役	網島 憲次	星野 外
名譽会長	栗原 浩	松本 喜
会長	相川 曹司	高田 四郎
副会長	野口 猛雄	星野 清
常任理事	鶴谷 憲三	松井 昌夫
理事	中村祥一郎	大畑 貞夫
	杉山 弘	坂井 裕
	宮崎 正夫	上条 繁根
	山崎 勇	今井富士夫
	奥平 平	豊田 弘一
監事	鈴木 実	大島 秀明
会計	田口 隆央	鈴木 康市
書記	各藤 隆	秋山 正一
記録	馬場 和夫	中村祥一郎

10・3 理事会・SCAリーダー委員会 北浦和
10・20 機関紙「むさしの」印刷

SCA充実期から

未来へ

副理事長

渡辺 広次

四十五年四月「自転車道の整備等に関する法律」が施行され、本格的な自転車専用道路の建設が促進されることになった。この法律制定を記念して、十月には記念パレード中央大会が、神宮外苑一駒沢スポーツ公園間で三笠宮さまをお迎えして開催され、十一月にはSCAラリーが、浦和より大宮までの記念パレードとなり、多くの市民に自転車専用道路の必要性を訴えた。

JCAの配属車は昨年度の入間青年の家、大宮公園事務所を引き継ぎ、岩槻青年の家に決定され、男子用六台、女子用十四台が貸与された。

又中央指導者講習会講師コースに一名を派遣、当協会の講師はこれで四人となった。

四十六年、第十五回全国ラリーは北海道において開催される。たからふく食べたジンギスカンの味、そしてどこまでも直すぐに続く道の長さに改めて北海道の広さを痛感させられた。このラリーが自転車専用道路を使用した最初のラリーであった。

このころより自転車専用道路を使ったラリーがさかに行われるようになった。第七回関東甲信越ラリー栃木大会においても、又、我が県内にも利根サイクリング道路が開通し、その記念を兼ねて第十三回SCAラリーは、おはようサイクリング県民大会と共催で行われた。

この頃から野外活動普及リーダー講習会が県の主催で行われるようになり、サイクリングの指導にSCAより毎年数名が派遣された。昭和四十七年二月五日、待ちにまつたJCAより第十七回全国ラリー埼玉県大会開催依頼文書が届き、ここに全国ラリーは正式に本県で開催されることになった。

六月三日に第一回準備委員会が招集され、第二回準備委員会で開催地を秩父と内定した。第十六回全国ラリー京都大会の閉会式において次回開催の宣言を行い、ここに第十七回ラリーのスタートが切っておろされた。

さっそく第一回の実行委員会が浦和で開催され、日程、会場等が決定した。開催地が秩父と遠距離であったため、現地実行委員会が発足した。しかしながら、現地実行委員にはサイクリストが皆無だ

つたことから作業はスムーズに進まず、何度も足踏みをする状態が続いた。こうして四十七年は、またたき間に過ぎ去り、本番の四十八年を迎えることになる。しかし、全国ラリーばかりに力を注いでいた訳ではない。指導普及用自転車は、長瀬青年の家に三十台が配属された。折りしもバイコロジ運動がアメリカからやって来て、バイコロジブームが到来することになり、これらの貸与車が大いにその成果を発揮したことは言うに及ばない。

昭和四十八年、いよいよ第十七回全国ラリーの年を迎えた。会合は毎日のように持たれ、活発な意見のやりとりが行われ、準備作業も着々と進んでいったが、日が進むごとにあれこれ欠けているところが指摘され、その埋合せにてんてこ舞の日々が続いた。

長いようで短かった四ヶ月も一瞬の内に過ぎ去り、大会当日（八月四日）を迎えた。式典も順調に進み、いよいよサイクリング出発となる頃、雨が激しく降り注ぎ、けつきよくスタートを遅らせる事になった。夜まで雨は降り続き、せつかくのアトラクションも台無しになってしまった。

五日は昨日とは打って変わって

11・25	SCAリーダー講習会	大宮
11・14	JCA講師研修会	国立中央青年の家
11・22	東西交歓ラリー	富士西湖
12・3	理事会・SCAリーダー委員会	北浦和
12・13	SCAリーダー委嘱式	浦和市公会堂
1・24	新春サイクリング・新春懇親会	大宮↓岩槻
2・20	JCA 35年度代議員会	東京
2・28	第1回自転車クロスカントリーレース大会	多摩川畔
3・19	関東サイクリング普及協議会	北浦和
3・19	理事会	北浦和
4・24	リーダー研修会（救急法）	日赤浦和
6・4	第4回全国サイクリングラリー	神奈川
6・9	SCA救急員養成特別講習会	日赤浦和
6・18	7・5、7・26、8・6	浦和
8・1	関東サイクリングラリー準備委員会	浦和
8・20	第1回関東サイクリングラリー	秩父
8・21	& 関東地区サイクリング連絡協議会	秩父
8・21	第2回国立公園大会	北海道
9・10	理事会・関東ラリー反省会	県立図書館
9・17	JCA講師研修会	伊東
9・28	関東地区サイクリング連絡協議会	浦和
11・6	県民サイクリング	大宮↓川越↓平林寺
11・12	理事会	事務局
11・25	関東地区サイクリング連絡協議会	東京

すばらしい天候になり、参加者は各エキスカーションコースへ元気に向うのを見て、やっと救われた気持ちになった。

かくて第十七回全国ラリーは盛大のうちにその幕は降りた。

一年半近くの努力もたつた一日半の短いドラマであった。こうして大会を終了して、余り感激の残らないラリーでもあった。ただただ苦しかった思い出ばかりが心の底に残り、晴々とした気持ちになかなか成れなかった。

全国ラリーの後遺症が残る内に四十八年は終りをつけることになった。しかし、このラリーはSCAに貴重な教訓を与えてくれ、今後のSCA発展に大いに寄与することとなった。

四十九年に入り、第十回関東甲信越ラリー埼玉大会が九月十四・十五日、浦和を中心に開催された。前年度の全国ラリーの委員会をそっくり引き継ぐことが出来たこと、全国ラリーでの苦い経験を生かせることができた事で大会準備もスムーズに進んだ。式典は県警音楽隊、浦西校バントントワラー、浦和民踊連盟のご協力をいただき、近年まれにみるフレッシュな開会式であった。コースは荒川サイクリング道路、明治百年記念森林公園を取り入れ、深みの有る

ブロックラリーになった。

全国ラリー、ブロックラリーと二つの大きな大会を無事消化し、SCAは大きく成長していくことになった。

この頃サイクルOLがさかんになり、SCAにおいても第一回目のOL大会を実施した。そして十月には御前崎において第一回サイクルOL全国大会が開催された。全国ラリーは広島、自然公園大会は静岡で開催、数名が参加する。

五十年、念願であった事務局移転に伴い、新しいSCAをめざして再出発することになった。

ラリー等で中断されていた一、二級のリーダー検定を東松山で開催したのを皮切りに第二回OL大会、指導者研修会、第十七回SCAラリー等、多くの行事が計画された。

ブロックラリーは再び振り出しにもどり東京で開催、二十回大会は再度埼玉で開かれることになる。

そして今年ついに協会創立二十周年をむかえ、やっとSCAも大人の仲間入りができた。JCAより再度要請のあったサイクリング相談の店講習会も終了し、晴れて県内にも二店の相談の店が認可された。

全国ラリー、ブロックラリー等

で活躍してくれた一、二級リーダーの人達も社会人として新しい人生に踏み込まれ、きつとあの時のラリーの苦い経験が役立っていることだろうとかすかな慰めの気持ちを持ちながら、又新しいリーダーの養成に取りくむ今日である。

来年からは協会は大人として恥かしくないよううりっぱな運営を行わなくてはならない。会員数も現在二千名余りとなり、協会も大きくなったが、その会員への指導、育成は一つの大きな課題と思われる。又グループ育成に力を注ぐ為にも個人会員への適切なアドバイス、協会スタッフの充実、最低講師十名、普及指導員十五名、一級二十名程度の数が必要と思われる。若い人の中には協会への助力をきらう傾向に有るが、この人達をいかに協会のスタッフに加わってもらうかも重要な課題である。協会無関心派をいかにしたら関心を持たせることができるか、魅力のある協会作りこれからも我々は努力していかなければならない。

十年後いや五十年、百年後の限りないSCAの発展を祈ってやまない。



12・3	第2回SCAラリー	大宮
12・4	リーダー研修会	自転車会館
12・20	理事会・年忘れパーティ	事務局
3・1	JCA会員証発行	
3・18	理事会	事務局
3・29	高校生野外旅行活動リーダー講習会	川越
3・31	ユネスコ「福生」多摩御陵・滝山城跡川越	
昭和36年度		
5・10	理事会	事務局
5・21	県民サイクリングの集い	大宮・多摩湖
8・5	第5回全国サイクリングラリー	
8・6		
8・29	県民体育祭代表者会議	県教育局
9・9	理事会	事務局
9・23	県民体育大会「県民サイクリングの集い」	大宮・川越・上尾
10・21	11・18 理事会	事務局
12・2	創立5周年記念・第3回SCAラリー	
12・3	&臨時総会	北本
3・24	第10回埼玉県社会体育レクリエーション研究大会	飯能高校
3・27	JCAサイクリング指導者講習会	国立中央青年の家
3・30		
昭和37年度		
6・2	役員会	事務局
6・23	役員総会	
7・3	37年度埼玉県レクリエーション指導者養成講習会	秩父武甲荘
7・4	理事会&SCAリーダー委員会	長瀬青年の家
7・7	JCAリーダー養成講習会	大宮スポーツ

第一回SCAラリー

普及指導員 大畑 貞夫

このラリーが、どんな目的をもって開催されることになったかは思い出せないが、まだまだサイクリングというものが理解されてい

しながら、一頁一頁丹念にみてみると、会報の第十一号・昭和三十四年七月十五日発行の中に、第一回SCAラリーの記録が特集されていました。

現在では、ラリーの様子などを文章にできませんので、この記録から抜萃し、ここに記すことにしました。

時の経過は早いもので、十七年の歳月が、あっという間に過ぎてきたように感じられます。

第一回SCAラリー記録
会場 正丸峠
期日 六月二十日・二十一日
天候 二十日(夕立・曇)
二十一日(曇・後小雨)

参加CC 北本CC(九名)
浦和CC(八名)
川口CC(六名)
川越CC(六名)
草加CC(四名)
TC埼玉(三名)
大宮CC(一名)

寄稿依頼のテーマは、「第一回SCAラリー」というのですが、どうも、その頃の記憶がはっきりし

しませんし、文章にすることも困難です。しかし、当時、私の方でも「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

ました。その頃、私の手元には、サイクリングの雑誌があり、その雑誌に「北本宿サイクリングクラブ」という会があり、ニュースと会報を発行して

15	SCAリーダー研修会	センター
29	高瀬秀宏君壮行会(アジア大会参加)	川口
5	第6回全国サイクリング大会	宮城
6		
17	第4回国立公園大会	上信越高原
18		志賀高原
23	県民体育祭・サイクリング	大宮・北本
27	理事会	事務局
7	優秀サイクリスト顕彰制定	
17	第4回SCAラリー	大宮・川越
18		県教育局
30	埼レク協評議員会	御殿場
5	全国レク指導者養成講習会	
6		
9	第11回埼玉県社会体育・レク研究大会	大宮
10	(星野清理事長埼レク功労者表彰)	
20	JCAサイクリング指導者講習会	城ヶ島YH
23		
15	JOA・SCAリーダー養成講習会・研修会	北本青年研修所
16		事務局
25	理事会	
18	第7回全国サイクリングラリー	愛知県
14		
13	青少年野外活動指導者講習会	日光湯本
16		事務局
9	理事会	
9	県民体育祭・サイクリング	大宮・安行・浦和・大宮
22		事務局
23		
28	SCAラリー運営委員会	事務局
5	第5回SCAラリー	
6		草加市・野田市・庄和村・岩槻市

第十七回全国サイクリングラリーの回想

副理事長 渡辺 広次

昭和四十七年二月五日JCAから全国サイクリングラリーの開催の依頼文書を受領し、さっそく総会を開き開催を決議し、三月二十八日JCA理事会にて正式に決定する。

SCAでは、さっそく第一回準備委員会が招集され、第二回準備委員会日程、会場等を内定した。

第十六回全国サイクリングラリー京都大会において次回開催の宣言を行い、ついに第十七回全国サイクリングラリー（以下全国ラリーと呼ぶ）埼玉県大会の幕は切っておろされた。

第一回実行委員会が浦和で開かれる。日程は八月四・五日、会場秩父と正式に決定、総務部、事業部、経理部の三部制で運営されることになった。実行委員会の基本構想もまとも順調に進むと思われたが現地の地域性、ラリーの無経験、サイクリングの理解度から運営上多くの困難に出合った。

そこで現地実行委員会を設立し本部との連絡をとりつつ二本立てで準備に当たることにした。第一回実行委員会開催から大会まで十

一ヶ月の期間が有ったにもかかわらず、思わぬトラブル等で実際に軌道に乗りだしたのは大会三ヶ月前になってからであった。連日のように行われた打合せ、作業等で実行委員の中には疲労の色も見えはじめた。大会まで実行委員会三回、現地実行委員会四回、他の打合せは数多くここに掲げることにはさけることにする。

大会の構成は次のように決定した。総務部は大会参加章、記念品写真コンテスト、特別表彰者、開催要領、案内状等の仕事を受けもち、事業部はコース、輸送、式典、受付、宿舎、給与、保管、修理道標等と実際の面を担当、経理部は事務手続一般に関する仕事を担当した。

参加章は知名度の低い埼玉を象徴するものがなく結局地名を图案化したのが、かえってこれがシンプルで有り好評であった。記念品についてはサイクリストにとって実用的であることを主眼におきバックに決定した。大会当日着用していた人が多かったことからその良さがうかがえた。

コースは集団走行・エキスカリョンコースとに分けた。大集団を宿舎まで移動させるために全員のバス輸送も考えられたが大会の趣旨から集団走行を採り入れた。国道140号線で行うため綿密な調査、県警との打合せ、現地実行委員会の要員配置等安全管理に万全な対策をとった。道路使用許可が交付されたのは大会三日前である。この間警察側との協力のもとに道路の巾員、交差点、カーブ、勾配、時間帯による交通量等の調査がなされ、詳細なコースガイドマップを作製した。

協会のサイクリング方式を取り入れ、リーダーを各県協会にまかせたがリーダー登録のない協会もあった。

エキスカリョンコースはバラエティに豊んだ十二のコースを設定し、そのコースから自由に選ぶことに楽しんで欲しいと願った。大滝中学から三峰神社まではカーブも多く急勾配なのでバス輸送とし自転車は大滝中学校で保管することにになった。

式典は現地実行委員会に委託し写真コンテスト表彰、十回・十五回参加者表彰を組み入れた。受付はグループ受付、個人受付と一長一短はあるが今回は個人受付とした。

昭和39年度

11・7	JCA臨時代議員会（法人化検討）	東京
11・16	南関東サイクリングラリー	鎌倉
12・14	SCAパーティー	浦和公会堂
1・10	スキーを楽しむ集い	戸隠高原
2・23	JOA・大学サイクリング指導者講習会	城ヶ島YH
3・2	JCAサイクリング指導者講習会	神宮日本青年館
3・28	38年度埼玉県社会体育レクリエーション研究大会	大宮体育館
4・6	理事会	事務局
5・7	埼玉県職場レクリエーション振興会議	大宮
5・8	理事会・サイクリスト表彰審査会	事務局
5・16	第6回SOAラリー	川口・鳩谷町・浦和
5・22	JCA法人化認可	
5・22	関東地区サイクリング指導者講習会	棒名湖畔
7・3	JCA第1回理事会	自転車会館
7・4	指導者研修会	北本青年研修所
7・21	第6回国立公園大会	中部山岳
7・25	シーサイド・レクリエーション（海を楽しむ集い）	南伊豆・須崎
8・1	第8回全国サイクリングラリー	高知市
9・9	10・19 理事会	事務局
11・7	関東地区サイクリング指導者講習会	
11・8	前橋（群馬県スポーツセンター）	

宿舎は県内で五百名以上の宿泊可能な所は三峰神社宿坊しか考えられず異論なく決定した。

この大会を実施して残されるものは何か、それぞれの立場での貴重な体験、心血をそいで作ったコースガイドマップ、そしてお互いの心のふれ合い、確かに物心両面のことはあるが現実的に残されるものはないだろうか、再び訪れるサイクリストの為、一般サイクリング愛好者が楽しむときの為に役立つものをと、又この地域の協力を報いる感謝の贈物として、この大会を記念してサイクリング道標をコース上五十本余設置することにした。

瞬く間に時は過ぎ大会一週間前をむかえた。会場地が秩父ということで準備の都合上、羊山センタ―に泊り込みとなり、その一週間のいそがしさといったら口では表わせない程であった。我々サイクリストにはありがたくない観光パソフの多かったこと、資料袋づめのためにけっきょく床に着いたのは大会当日の午前二時であった。

八月四日午前六時起床、はればつたい目をこすりながら市民会館へ向う、慌しい作業の続く中で我にもどった時すでに式典は始まっていた。束の間の昼食をとり、いよいよ三峰へ向け集団サイクリン

グの出発となったが、その頃より雨が降り出した。取りあえず出発を見送ったがこのまま遅らせることすべてのスケジュールに大巾な狂いが生じるので緊急会議の結果三十分後には幸い小雨になったので出発する。

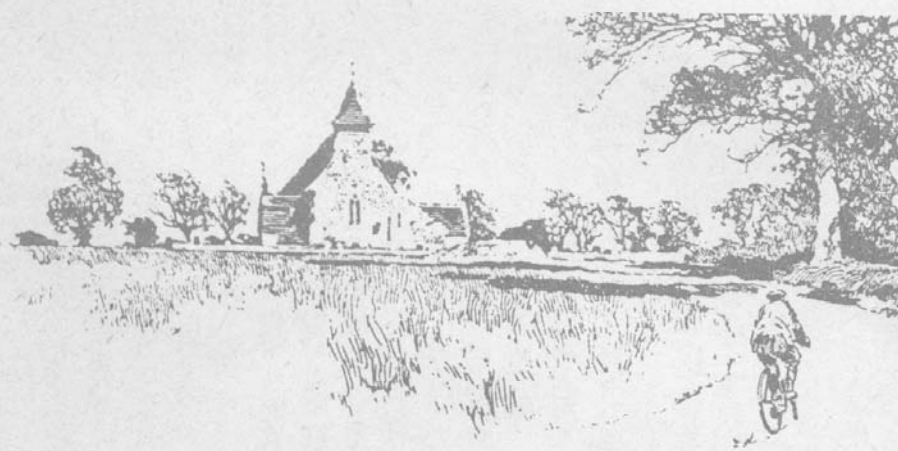
雨は夜まで降り続き、せっかくのアトラクションも台無しになっってしまったが宿舎での交歓会はなごやかに行われた。

八月五日は早朝に大会旗の引継が朝もやの三峰神社で各県代表者が出席し、神官の祝詞と雅楽奏上のうちにほのかな神燈に照らされた大会旗が静かに広島県代表に手渡された。

天候は昨日に変わって絶好の天気となり大滝中学校より各エキスカ―ションコースごとに出発する。りっぱなガイドマップを大会前に送付したにもかかわらず忘れてしまい又は持っていないも見ようともせずただ人の後をついてゆく者、はては歓迎している土地の人に道を尋ね、通行を禁止した国道を平気で走る人など参加者のマナーの悪さを痛感した。

その為もあってか予定より一時間早く到着した参加者が多く大部分の人は長瀬へ直行した形となってしまった。長瀬から「Jコース」に向った人もあったが団体乗

車の特典を利用して東武と秩父鉄道に乗り込んだ人が多かった。かくして八〇〇名余りをむかえての第十七回全国ラリー埼玉県大会は事故もなく恙なく終了した。大会を終って我々はいかに反省するところもあり、今回の全国ラリーがSCAに対して多くの教訓を残してくれ、これが今後の協会発展に大いに役立つことになった。



11・15	JCA講師研究会	自転車会館
11・20	第12回秩父宮杯・埼玉県自転車駅伝大会	浦和・秩父
11・28	理事会	事務局
12・20	SCAパーティー	北本
1・31	JCA講師研修会	名古屋スポーツ会館
3・9	3・29 理事会	事務局
3・18	39年度サイクリング指導者養成・中央講習会	大津Y日センター
3・20		

昭和40年度

5・12	理事会・評議員会	県庁
6・9	緊急常任理事会	事務局
6・27	サイクリング指導者講習会	大宮
7・1	協会のしおり作成	
7・1	JCA常任委員会	日本自転車会館
7・4	サイクリング指導者講習会	上尾
7・22	常任理事会	事務局
7・24	第1回県民サイクリングの集い	
8・1	JCAニュース No.1 発行	鎌北湖
8・7	第9回全国サイクリングラリー	和歌山
8・8	第7回国立公園大会	
9・9		十和田・八幡平
9・15	理事会・サイクリスト表彰審査	事務局
9・21	関東甲信越連絡協議会	国立教育会館
9・25	第7回SCAラリー	
10・26	(県民体育祭サイクリング)	
10・1	自転車業界共同PR始る	テレビ 新聞等
10・14	第19回全国レクリエーション大会	山形市
11・13	第1回関東甲信越サイクリングラリー	

第十回関東甲信越サイクリングラリーの思い出

企画部長 原田 知治

前年の第十七回全国ラリーを主管した経験と反省を、充分に活かした運営をと考え、主会場は協会主力地域に、実走は荒川サイクリング専用コース、更にオープンに約束されている国営武蔵丘陵森林公園と構想を固め、事前準備が進められた。

大会まで三ヶ月足らずの昭和四十九年六月二十二日、第一回実行委員会が埼玉県青少年会館で開催された。実行委員会は当初予定の十部会から五部会に集約した。式典・会場・コース・宿泊・給与・安全管理・庶務の各部会組織である。大会を成功させたのは、短い準備期間における、役員一同の充実した運営と協力および五部会組織要員が適材適所に配置されたことであろう。

私の所属した庶務部会は、第一回会合七月二十日で、大会まで二ヶ月足らずである。この二ヶ月間、ほとんど連日作業が続けられた。予算書作成、参加申込み書整理、参加者名簿作成、宿泊部会より連絡の宿泊区分、コース部会より連絡の班区分の原簿作成、コース詳

細図作成・各警察署提出用コース図作成、会場案内図作成印刷、旅館案内図作成印刷・渉外・参加者名簿編集、名札レイアウト・参加者注意書作成印刷、各印刷物荷づくり発送作業、参加申込み金、各部会費用会計処理、プログラム編集、校正、参加者名札記入、協会

備品台帳作成、班別リボン作り（コース部会）、役員用リボン整理、名前記入、給与引替券印刷・等々の作業が連日、会社退社後時刻より真夜中まで続けられ、大会前々日コース部会メンバーの応援を受け、県外参加者用資料袋づめが行われた。

来賓および県内参加者用資料袋が完成したのは、大会当日午前二時頃であった。庶務部会の作業のほとんどと云うより、この大会開催のための主会議場として、今大会の事務局である理事長宅を連日連夜、利用させて頂いた事に関し、この場を借りご家族の皆様にお礼を申し上げます。

大会を目前にした九月初め、関東地方は雨台風に見舞われ、荒川サイクリングコースは完全に水中

に没した。コース部会は九月八日水の引くのを待って、コースを実走調査、幸いにして使用不能箇所はなく、当局に対し、コースに倒れかかったゴルフ場の金網、およびコース上の汚泥等の除去を申し入れた。

いよいよ大会当日、輪行袋利用について駅周辺のトラブルは全く無く、集合はスムーズに行われた。代表者会議（関東甲信越サイクリング協議会）で、大会の運営基本方針および注意事項等を説明、その伝達と協力方を要請したが、多少の連絡不足があったようだ。受付は協会単位としたため処理は簡単であったが、不参加者の実態が把握できなかった。

式典およびアトラクションは大会のメインイベントであるため、関係者の苦労は大変なものであったろう。先ず来賓の方々をステージに案内、十五時、県警音楽隊の演奏に合わせ県別に参加者入場、開会宣言、挨拶、表彰・祝辞と式典は、非常にスムーズに進行された。

開催地浦和には、適当な郷土芸能がないため、県警プラスバンド、浦和市民踊連盟、県立浦和西高のバントトワラーの賛助を仰ぎ、それぞれの特徴を活かし、加えてレク指導もあり、和やかな雰囲気

12・10	41年度中央講師研修会	長崎
11・18	第20回全国レクリエーション大会	神奈川
11・6	サイクリングラリー	
11・5	第2回関東甲信越・第4回南関東	
11月	全国46都道府県組織化完了（JCA）	東松山
10・15	第8回SCAラリー	大阪・相生
10・10	国鉄初のサイクリング電車	
10・2		
10・1	第2回県民サイクリングの集い	石和
9・20	自転車道路建設促進協議会設立	
9・17	葡萄狩りバスハイキング	
9・16	理事会	事務局
8・25	群馬・栃木・埼玉・交歓サイクリングラリー	山形県
8・6		
8・5	第10回全国サイクリングラリー	事務局
8・初	指導普及用サイクリング車配属	事務局
4・20	理事会	事務局
3・20	第3回南関東サイクリングラリー千葉県大会	千葉
3・18	第13回県社会体育レク研究大会	大宮
2・25	中央指導者養成講習会	青少年総合センター
1・24	中央指導者研修会（東日本地区）	日本学生会館
1・3	若人の森建設大会参加記念・親善ラリー	沖縄
14		東京

昭和41年度

中に参加者の満足された表情がうかがえた。

私は前年の全国ラリーでは式典に出られず、何の感動もなかったが、今式典には最初から参列し、県警ブラスバンドによる演奏を聞いた時、何か熱いものがこみ上げてきて、全身感動にひたつたことは、一生忘れることのできない思い出となった。

アトラクションの西高バントントワラーによる演技が始まると、おしゃべり中の参加者も話をやめステージを見つめる等、好評のうち

に開会式は進んだ。
宿舎は、浦和が観光地でないだけに十七ヶ所の分宿も止むを得ない事であった。前日に全旅館を回り、確認と要請を行い万全を期していたが、一部旅館側の手落ちがあり、参加者に迷惑をかけたことは遺憾に思います。

荒川コースや森林公園のコースも参加者に好評であり、コースの調査が充分行われ、一般道のコース中では最高の出来と思う。

記念品の工具袋は、前年の全国ラリーに並び実用品として多くの人に愛用されている。又、記念バッチは、役員の原案によるもので仲々良いものであった。

長時間に渡る準備が、この二日間を終えた時、「やったんだ」と

云う感動と共に訪ずれ、この思い出を記す今、脳裏にはつきりと浮んでいる。

この大会が無事、成功に終了出来たのも協会員始め、各役員の方々のご協力の賜ものと心からお礼申し上げます。



昭和42年度	1・14	代々木
スキーの集い	1・15	戸隠ロッジ
41年度中央指導者研修会	2・5	代々木
41年度中央指導者養成講習会	2・18	代々木
常任理事会・ラリー運営委員会	3・1	事務局
埼玉県レクリエーション大会	3・12	大宮公園
第8回SCAラリー	3・19	東松山
女子サイクリングリーダー養成講習会	3・25	狭山湖
第2回レク指導者養成講習会	6・6	東松山
サイクリング教室	6・11	川口
役員会	6・27	事務局
県内サイクリング指導者養成講習会	7・8	事務局
青少年野外活動サイクリング講習会	7・22	秩父
第11回全国サイクリングラリー	8・4	岐阜・大垣
第9回国立公園大会	8・10	箱根
第21回全国レクリエーション大会	8・18	大津
指導普及用サイクリング車配属	8月	飯能YH
東京自転車健保第8回サイクリング	9・24	大宮
第8回関東甲信越サイクリングラリー	9・30	桐生・前橋・伊香保
群馬大会	10・1	
第2回サイクリングトロフィー	10・7	多摩町
⑨トロフィー実行委員会主催	10・8	

SCCAと青年の家

普及指導員 大野文雄

埼玉県サイクリング協会が発足して、今年が二十周年で記念誌が発行されるにあたり、SCCAと青年の家について、何か書くようにいわれて喜んでペンをとることにしました。

サイクリング協会の仕事は、会の運営はいうまでもなく、諸大会の開催、指導者の養成、サイクリストへの適正指導等、非常にバラエティーに富んだ仕事で沢山あるわけで、それを全国の地方協会のトップクラスにある地位を、二十年の間に確立されたことは協会役員諸兄の御苦労と、関係諸機関の絶大な御後援があったものと思ひ、改めて感謝いたします。

さて、青年の家と協会の関係ですが現在岩槻青年の家、長瀬青年の家、東松山青年の家、入間青年の家の四ヶ所は、協会より、サイクリング車をお借りしております。青少年たちによって、健全な野外活動等が行われています。

現代の青少年のしぐさは、とかく悪い場面だけ、マスコミのはでな情報提供によって誤解されがちですが、青年の家に來てサイクリングする若人は、決してそのような者はおらず、皆、心身共に健康で、より高い人格の形成と、身体

の練習に励んでおるものが大部分です。

青年の家の役割りは、青少年に對し良き環境と条件の中で、直接的であると間接的であるとを問わず、教育的によりき影響を与えることを目指した教育機関であつて、その中で、現在の日本の社会の風潮や、青少年の意識や行動の実態に即して、何が最も強調され、何を重視していくべきかという視點に立つて、より具体的にとらえていかなければならないわけです。

現代の青年教育の柱に、意欲づくり、創造性、自主性、社会性、協調性、不満耐性、洞察力等があげられてあります。最近特に、日本の工業化に伴つて自然環境が破られ、青少年が自然に親しむ機会が少なくなつて來ました。

そのような状況の中にあつて、青年の家の近在は、おおむね自然環境の良い所に存在してゐる關係上、サイクリングによつて自然に親しみ、浩然の氣を養いながら同世代の若者達が、お互いに横に手を結び、交流交歓を楽しみ、青年が自らの人生の課題と指針を発見し、その目標を確立する動機をつかむことができます。

入間青年の家の近在には、入間

サイクリングコースが市營で作られていますが、起伏に富み、遊び半分ではとても乗りきれません。しかし若人たちはあえてそのコースに挑戦します。乗り上げられなければ二度でも、三度でも……そうする中に忍耐力は養われ、技術が向上し、やがて頂上を征服しやれば出来るという自信がついて來ます。

また、八十八夜の頃、新茶の香り高い茶畠の中を走るコースは、若い世代の交流が一段と深まる役目をはたしてくれます。

日帰りで五十キロ程度のボタリングは、創造性や協調性がはぐくまれ、規律ある生活態度が觀念としてでなく自然に身についていきます。

今日の青年は、明朗で積極的に富んでいるが、反面利己的で相互援助の精神や社会連帯感が欠如しているといわれてもいますが、このような人にサイクリングを是非進めてやりたいと願つています。

このように青年の家ではサイクリングを通じて、青年の全人格形成を目指して頑張つていきたいと思つておりますので、今後とも協会の人たちの御支援を願ひつゝ、協会の発展を祈り、二十周年のお祝いのことばといたします。

12・10	JCA 常任委員会	六本木
11・16	2級リーダー養成講習会	飯能 YH
10・10	秋の秩父路サイクリングの集い	上尾運動公園
10・7	指導普及用サイクリング車配属	千葉
9・28	第4回関東甲信越サイクリングラリー	嵐山
8・23	青少年リーダーサイクリング講習会	福岡市
8・3	第12回全国サイクリングラリー	
5・15	指導普及用サイクリング車転属(事務局分)	
4・1	JCA指導者制度施行(1・2級リーダー)	
3・24	指導者講習会(24日はSCAラリー参加)	飯能
3・23	青少年スポーツ活動(サイクリング)	
3・8	3・22 ラリー運営委員会	事務局
3・7	関東甲信越地区協会事務担当者会議	東京
2・20	2・27 3・5 ラリー運営委員会	事務局
2・15	理事会	事務局
2・9	42年度中央指導者講習会	青少年総合センター
1・19	42年度中央講師研修会	青少年総合センター
12・17	県民レクリエーションの集い	上尾
12・7	指導普及用サイクリング車配属	東松山青年の家
10・14	サイクリング相談の店認定伝達式	事務局

リーダー養成について

普及指導員 関口 章

もともとサイクリングとは、自由に、自分個人の意志でどこへでも、いつでも出来る、実に楽しい。スポーツであることは云うまでもないのですが。……

なぜ、リーダー養成なるものが必要になるのでしょうか？ 立場を変えて、考えることも又楽しいことではないかと思えます。

自転車の正しい乗り方から始まって、楽しい利用法にいたるまで、沢山の方法やきまりがあり、公道を使つて行うサイクルスポーツにあつては、その分だけ法規を守る義務も生れて来る訳ですから、協会サイドに統一された、基礎技術や知識を、会員相互にサービシ、一般社会に迷惑をかけることなく模範であることを目的とした、リーダーの養成が必要になつてくるのではないだろうか。

よりよき先輩の指導を受けて、よりよき社会人となられた方が、その喜びを社会へ還元しようと考えた時。よき仲間や指導者もなく独自でサイクリングを理解した方が、その苦しみを後輩に残さない様にとつた時。又自分が職業上

その必要を認めた場合等と、リーダー検定には、いろいろの動機や立場から参加される様であります。初めてリーダー検定を受けるのに、二晩や三晩の徹夜を経験した人、参加する以上は「パーフェクト」でありたいと参考資料の入手に懸命になった人、いや参加さえすれば資格はくれるであろうと心にゆとりのある人。

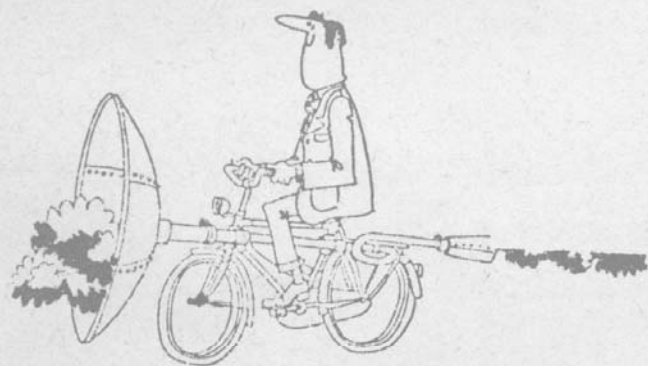
一口に言うサイクリングにも沢山の種類があつて、その目的、方法、順序等みんな違つた考えを持つて集まつて来る、それが検定会場でもある。そこで協会では、受講者の都合や違いを無視するかの様に、JCA指導要項にそつて指導、指示が出来るかを採点するのであります。各県協会での検定は地域差や、普及状況によつて多少の違いがある様ですが、少なくとも県協会内においては、同じ指導方法を取り入れて会員の平等を図つてゐるのです。

万が一、不合格であつてもその人が不適任であると言うことではないと思う、なぜならその人も、地域や職場においては完全にリー

ダーシップをとつて活動している自信が見えるからです。この場合は協会サイドの採点と方法や順序、表現等が、少々違つただけと考えるのも良いのではないでしようか。このポイントをつかむことが出来れば合格は容易です。

あなたもリーダーに適任です。ボランティア活動として、他人のためにだけではなく、あなた自身のためにも、社会に貢献して見ませんか。

協会ではフレッシュなあなたの協力をお待ちしています。



12・23	関東甲信越各都県協会有志懇談会	浦和
2・8	43年度中央指導者講習会	
3・15	43年度中央講師研修会	青少年総合センター
3・17		大阪
昭和44年度		
5・27	野外活動研修会	
7・28	(サイクリング教室)	東松山青年の家
7・5	44年度中央講師研修会	CSO
7・7		
7・16	役員会	事務局
7・26	サイクリング教室	小川
8・2	第13回全国サイクリングラリー	
8・3		金沢市・能登半島
8・5	高校生モデルキャンプ	
8・8		御殿場太郎坊キャンプ場
8・6	第11回国立公園大会	島根県
8・7		
8・11	9・16 10・1 ラリー運営委員会	
8・20	サイクリング教室	飯能YH
8・21		金子坂
8・26	武蔵サイクリングコース開通式	
9・3	埼玉県レク協役員会 浦和社会福祉婦人会館	
9・5	入間青年の家開所式	
9・10	普及指導用サイクリング車配属	20台
9・18	埼玉県自動車道路建設促進協議会設立	
9・21	普及指導用サイクリング車配属	
9・22	上尾運動公園分10台十新車20台	大宮公園
9・24	第5回関東甲信越サイクリングラリー	佐渡
9・24	埼玉県レクリエーション指導者講習会	

中央指導者

講習会に参加して

普及指導員

松村 充

早いもので、普及指導員の講習を受けてからもう二年以上も過ぎてしまいました。この期間に自分は何をしたかなどと考えると、具体的には何をやらなかったというものはなく自分の無力をつくづく感じさせられます。伊豆での4日間の講義内容で一番興味を持ったのが、「サイクリングの安全指導と安全管理」です。自分の体に合わない自転車に乗っている人、整備不良の車に乗っている子供達など見かけると安全指導の必要性を強く感じます。又最近の「ゆっくり走ろう運動」の浸透で車対車の事故は減少しつつあるが、車対自転車の事故が新聞紙面でも目につくようになりまし

責任を問われてはかたないません。この様なことがないように事前に危険防止の注意をする。具体例としては、

一 注意事項を記入した印刷物を配る

二 点検整備を必ずする

引率者の逃げ口上を教えるつもりはありませんが、法的免責条件を満たす為にまず出発前に危険が伴うということ、全員に知らせておくべきです。又スポーツでの事故では因果関係の実証がむずかしい刑法上の責任を問われることはまずないでしょう。又民法上の問題については、親族の損害賠償権などがありますが、道義的な責任はとってもらい損害賠償までは負わなくても良いでしょう。又損害賠償については、短期間の保険をかけて対処すべきでしょう。これまで事故や法的責任などについて書いてきましたが、自転車は自動車と比較しても安全率で5倍、危険率では1/5と安全なものです。また対自動車の事故でも80%がもらい事故です。サイクリングの事故は自損行為によるものが多く、これについても事前の指導によって事故を防ぐことが出来るでしょう。色々と学んだことを列記いたしました。私自身がまだまだサイクリングの安全性について、勉強

しなければならぬと思っております。



7・7	7・28	6・27	6・21	6・20	5・10	4・3	4・11	3・10	3・8	3・4	3・1	1・28	1・24	1・19	1・17	12・21	12・14	11・15	11・10	11・9	11・3	10・12	9・27	9・26
野外活動キャンプ指導者講習会	野外活動キャンプ指導者講習会	レクリエーション指導者講習会	野外活動研修会	野外活動研修会	サイクリング普及活動推進研究会 (輪行袋の利用法とその指導・刊行)	昭和45年度 「自転車道の整備に関する法律」施行 昭和45年法律第16号	1・2級リーダー養成検定会	国鉄「輪行袋車内持込み」認可	関東甲信越ブロック連絡会議	役員総会・普及指導員認定証伝達式	SCLC研修会	JCA常任委員懇談会	千葉県協会との懇談会			44年度中央指導者講習会	SCLC設立総会	サイクリング教室	第23回全国レクリエーション大会	サイクリング教室	SCLC設立発起人会	第2回クラクラリ	第11回SCAラリー	サイクリング教室
入間青年の家	入間青年の家	入間青年の家	入間青年の家	入間青年の家	事務局	施行	入間青年の家	戸倉	事務局	事務局	事務局	横浜市	SCA事務局	SCC	北本中央公民館	岡山県	北本中央公民館	岡山県	川口市青木運動公園	事務局	箱根	北本市	埼玉図書館ホール	入間青年の家

サイクリング 相談の店

企画副部長
近藤 繁男

いつでも、どこでも、だれでも、自由に楽しむことができるのが、サイクリングであり、自転車に乗れる全ての人が、サイクリングの楽しみ方を知っているとは、限らない。楽しみ方を知ろうとする人たちが、これからサイクリングを始めようとする人たちは、何らかの機会、あるいは、経験者に頼らなければ、正しいサイクリングを理解することができません。

そこで、初心者のカウンセラーとしての役割を果たす、「サイクリング相談の店」の制度を実施してきましたが、急激に変化する社会環境に対応するため、昭和四十九年六月に制度を改正し、サイクリングの知識と経験のもとに、ピギナー及びグループの育成を図り、サイクリストの良きカウンセラーとして、サイクリングの健全な発展に寄与する「JCA公認・サイクリング相談の店」を、養成することになった。

改正された「JCA公認・サイクリング相談の店」の認定、登録

更新、規程等は省略いたしますが、昭和五十一年度第一回の「サイクリング相談の店」養成講習会についてお話ししましょう。

快晴に恵まれた六月十九日、東松山青年の家において、二十三名の受講者を対象に、一泊二日の日程で、開催されました。

午前十時までに、会場に集合し受付後、開講式を行い、JCAの馬越副会長のあいさつののち、JCA常任理事である寺見講師により、講習の幕が開いた。

星野講師の「相談の店のあり方とSCA」、渡辺講師の「グループの作り方と運営」、そして、関口講師の「安全指導と点検整備について」と続き、午後四時半まで、みっちり勉強した。

夕べの集いの後、原田講師から「サイクリング用車の知識」の講義を受け、やっと夕食だ。

午後八時から、杉山講師の講義で「走行技術・グループワーク」について勉強しその後、映画「すばらしいサイクリング」を観賞、講習第一日が終了した。

翌日は、六時起床、朝のつどい、朝食をすませ、八時過ぎから、鶴谷講師による「輪行の指導法」の講義が開始され、一時間後には、庭へ出て、「輪行の実技テスト」が始められた。分解し、輪行袋に

入れ、ガタつきはないか、パーツの紛失はないか等、各検定委員の検査を受け、次いで組立である。

組立が終了すると、三点調整の可否についてのチェックを受け、実技テストは全部終了した。持ち時間は六十分であったが、オーバータイムの受講生もあり、今後の研鑽が望まれる。

十時過ぎに、教室に戻り、各講師から補足講義を受け、質疑応答の後、四十五分間のペーパーテストが開始された。

午後には、約三十キロの実走が行われ、走行技術がテストされた。予定時間には、全員無事帰着、冷たい飲みもののどをうるおした。

閉講式における、講評は各人、感銘を受けたようだ。成績については、後日各受講者あて送付される手順となっており、受講者にとっては、待ち遠しいことであろう。

現在までに、公認された「サイクリング相談の店」は、わずかにあるが、今後共、養成講習会を通じて、せめて一市に五店舗位の相談の店を養成し、健全な野外活動、としてのサイクリングの一層の普及、発展を図るべく考えております。

関係者の御精進により、業界が躍進されることを祈念し、サイクリストの駄文を終わります。

昭和46年度

7・29	野外活動普及リーダー講習会	戸隠キャンプ場
5・28	サイクリング指導者研修会	岩槻青年の家
8・5	第14回全国サイクリングラリー	CSC
8・5	第12回国立公園大会	愛知県 事務局
9・6	リーダー研修会	岩槻青年の家
9・9	普及指導用サイクリング車配属	20台
9・9	普及指導用子供用軽快車配属	10台
9・13	第6回関東甲信越サイクリングラリー	草加市立栄小学校
9・26	1・2級リーダー養成検定講習会	長野県
10・4	サイクリング教室	東松山青年の家
10・10	交通安全・青少年健全育成	岩槻青年の家
10・25	自転車道法制定記念パレード中央大会	神宮外苑
11・7	SCAラリー前夜祭(映画会)	県立図書館
11・8	自転車道法制定記念	浦和
12・6	自転車安全教室	北本中学校
12・22	サイクリング普及活動推進研究会	浦和
1・15	関東甲信越サイクリング協会懇談会	千葉
1・23	45年度中央指導者講習会	CSC

埼玉県

青年洋上大学

一級リーダー

伊藤育功

五回目を迎えた埼玉県青年洋上大学は、県下の青年代表四百名と県内に働く沖縄出身青年代表十五名は、去る六月二十三日から七泊八日の長期研修計画のもとに実施されました。

青年洋上大学は、昭和四十七年から埼玉県が主催し、「青少年育成埼玉県民会議」の後援で、毎年行われており、実施に当っては、「埼玉県生活福祉部青少年課」と「埼玉県青少年団体連絡協議会」が運営にあたる。埼青連とは、県内の青少年団体相互間の連絡提携をはかるとともに、青少年活動の中核となつて、その発展のために寄与することを目的とする協議会で、ボーイ・ガールスカウト、青年団、青少年相談員など現在十九団体が加入しており、埼玉県サイクリング協会も、十六番目の加入団体として昭和四十八年に加わった。なお、埼青連の主な活動は主催事業として毎年三月第一日曜日に行う「青少年のつどい埼

玉県大会」を始め、県及び県民会議主催の、青年洋上大学、リーダー講習会等のバックアップや、他県青少年との情報交換などである。今回の青年洋上大学には、埼玉県サイクリング協会推薦として、豊田さん（班長・九閑島）、楠さん（秩父）、山口君（浦和）、森田君（らくだ）の研修生と、私が参加した。今までも、毎年四名づつ協会推薦として前回まで十二名が参加した。（なお推薦としては、埼青連に加入した第二回目から参加。）

研修内容は、船内生活を利用した講師四名による往復七回の講義と、目的地、沖縄青年との交歓会、班別・組別研修など、量的にも拡充されていた。また特に今回は自由時間の余裕があり、研修生同志の連がり前回までより一層深まったようであった。

洋上大学の成果は、連帯感が深まったこと、多数の中での自分、団体生活の意義を学んだことなど色々とありました。

次に私の感じたこと、思い出などを書いてみます。

私にとっては二回目の青年洋上大学でした。二年前、研修生（班長）として「参加した時とは違つた、いろいろな勉強の場でした。」「青年洋上大学に指導員として参

加してほしい」と埼青連の副会長からの電話に驚き、星野理事長から「行ってこいよ」と励ましのこゝろをいただいたの参加でした。組長とは、うまくいくだろうか、同年配の研修生とはトラブルが起らないだろうか、という不安な気持ちと、再度参加させていただいた以上、何かを習得しなければいけないという気持ちがいろいろみだれての乗船でした。

前回同様一日目は、研修生同志、役員と研修生の間がしっくりせず、二日目からはそれが寝食を共にしたせいか、古くからの友人のような態度になつてきた。

役員も、二回目からは指導員の部屋に顔を出す様になり、和やかなムードになつた。

その中で話に、リーダーはオールラウンドプレイヤーでなければならぬ事、特技を持つことを学び、また自分の欠点等指摘されたと。この事は、私には初めてのことであり、自分を見つめている人が居る事を認識した。

今回の研修で、一番勉強になつたのは、誰でもリーダーになれると云う事である。例えば、今までグループのリーダー経験のない班長の班ほど、特徴ある、ユニークな班に成長していくのが、一日目に見えることである。

8・7	第15回全国サイクリング大会	札幌・千歳
9・19	第7回関東甲信越サイクリングラリー	宇都宮・日光
10・13	栃木県大会	宇都宮・日光
10・24	常任理事会（SCAラリー打合せ）	事務局
11・7	利根サイクリング道路開通記念	事務局
11・13	第13回SCAラリー	行田・羽生・加須
12・14	SCLO研修会	事務局
12・19	1・2級リーダー養成検定講習会	加須青年の家
1・14	SCLO総会	事務局
1・22	関東甲信越ブロック協議会	川治
2・24	46年度中央指導者講習会	青少年総合センター
2・5	JCAより第17回全国ラリー開催依頼着信	
2・7	関東甲信越ブロック連絡会議	東京文化会館
3・4	JCA普及指導員伝達委嘱式	大宮
3・18	サイクリング普及活動推進研究会	大宮
3・25	△第17回全国ラリー主管決定▽	
6・3	昭和47年度	
6・18	47年度役員総会	浦和市民会館
6・25	美容と健康・ママさんのサイクリング教室	大宮大成山団地
7・9	リーダー研修会	事務局・周辺
7・16	第16回全国ラリー参加者打合わせ	事務局
8・6	子供とママさんの安全な乗り方	事務局
8・10	楽しいサイクリング教室	蔵市公民館
8・13	第16回全国サイクリング大会	京都
8・25	△第17回埼玉開催宣言▽	
8・25	野外活動普及リーダー講習会	本栖湖
8・25	バイコロジをすすめる会・発足	

なれない班長も、班員にリードされるばかりでなく、班員をまとめいく役として、一つのグループの誕生から一人前のグループへの成長を八日間でなしとげた。

一人の人間が成長していく間にはいろいろなことがある。長いようで短かった八日間の洋上大学、いろんな団体活動を行っている人、これから団体活動しようとしている人、リーダーとしての立場のある人、いろんな職業をもった人がいた。その人たちと、職場のこと、団体活動、将来、恋愛、結婚のことまで、さまざまなことを話し合い、みんなが今青春の真っただ中を歩いたり、走ったりしていることを身をもって体験した。

八月一日に研修生約二百七十名と役員が参加して同窓会がもたれた。その時の顔は、一カ月しか別れていないのに、一人一人がたくましく、また、人間的にもずっと大きく成長していた。一週間余りの研修が、研修前と後では、これだけ違うものかとびっくりした。今後こんなすばらしい洋上大学に埼玉県サイクリング協会の代表として、どしどし参加してリーダーを増してほしい。

詩

高田 征洋

春、花の香り

新緑に光る銀輪

そよ風が、ほほをなでる

夏、直射日光を浴び

汗にぬれるシャツ

裸になって

夏草の上に、身体を委ねる

秋、夕空に赤トンボ

家々の灯が

一つまた一つ ふえる

あたりから虫の音が……

冬、バーをにぎる手が

いてつく枯風

休む時の

熱い一杯のお茶



9・2 指導普及用サイクリング車配属

9・2 長瀬青年の家30台・東松山青年の家20台

9・2 1・2級リーダー研修会

9・15 第8回関東甲信越サイクリング茨城県大会

10・7 全国ラリー・関東甲信越ラリー参加者

10・14 合同反省会

10・22 千葉国体開会式・国体初の自転車パレード

11・11 第14回SCAラリー

11・11 第26回全国レクリエーション大会

12・12 協賛サイクリング大会(12日) 神宮外苑

12・12 おはようサイクリング全国指導者

12・16 研究協議大会

12・16 1・2級リーダー養成検定講習会

12・16 長瀬青年の家

12・16 47年度中央指導者講習会

12・16 関東甲信越ブロック指導者連絡会議

12・16 役員総会・普及指導伝達委嘱式

12・16 企画部・総務部・指導委員会制度決定

12・16 埼玉県バイコロジ研究会結成

12・16 昭和48年度

12・16 47年度埼レク協役員会

12・16 企画部会(協会運営・企画)

12・16 総務部会(協会運営・総務)

12・16 48年度中央指導者研修会

12・16 48年度役員総会

12・16 第2回バイコロジの集い全国大会

12・16 第17回全国サイクリングラリー・主管

12・16 浦和市民会館

12・16 事務局

12・16 OSC

12・16 OSC

總務副部長 戸張岩男

て種々な行事を催していく。そして各リーダーが中心となり、SCAと各所属グループの意志の疎通をはかつていく。そのためには日頃から各リーダー間での交流を密にし、情報の交換、所属グループ相互の交流がなくてはなりません。もちろんSCLCのためのリーダー

ーではないことは、いうまでもありませんが、リーダーとしての任務を遂行するために、SCLCがあるのですから、SCLCはその目的のために各リーダーからの要請に答えなくてはいけません。

そしてSCAはSCLCの要請に対して答えていくようになればSCLCはその目的を達成できると思います。

これからのSCAの発展のためには、各リーダーがその任務を充分に果たさなくてはなりません。SCLCはその事に対して、重大な責務があると思います。SCLC

A black and white illustration of two children walking away from the viewer on a path. The child in the foreground is carrying a large hoop on their back. The background shows a field and a distant structure.

- 24 -

サイクルOL

副理事長 渡辺 広次

最近ではOLという言葉も、それほど目新しいことではなくなり「オフイス・レディ」と間違える人も少なくなりました。OLという略語はドイツ語のOrientierungslaufのOLをとったもので「方向を定めて(Orientieren)走ること(Lauf)」という意味です。英米語では、オリエンティアリングと呼んでいます、我が国では、OL発祥地のスウェーデン語の発音である「オリエンテリング」を用語としています。

従ってサイクルOLとは、自転車を使用して行うオリエンテリングということになります。

サイクルOLの形式は「ポイントOL」「ラインOL」および「スコアOL」の三種類があり、一般にポイントOLが採用されています。

SCAにおいても過去二回行われたのも又第三回大会でもこの形式をとりました。第一回は四十八年十一月に開催されたが、まだこの時はサイクルOLの実施基準もきまっておらず大会運営も初めてなので協会の苦労は大変なもので

我県での最大の悩みは会場地の選定である。

、徒歩OLと違いサイクルOLはコース距離も成人男子で二十〜三十kmとなる。県内は最近幹線道路が増え、交通量も多くなり、バイパスを避けてコースをとらねばならないこと。土地開発等が進み現状と地図とのギャップがかなりある為、コース設定は至難の業である。

指導委員会の懸命な調査により第一回は東松山青年の家近辺、第二回大会は森林公園付近を選定した。しかしこれらの会場も100%満足できる所ではなかった。丘陵地であるが平坦路が多く、見通しが良いのでポイントの設定には大変苦労を要した。

第三回大会は少し目先を変えて神川で行うことにした。神川は起伏に富んでいるのでコースは問題ないが、県北に片寄り過ぎていてため参加者には少し遠方となるようだが安全管理を考えればしかたの無いことである。

協会スタッフにOL経験者が少

ないため四十九年六月の中央研修会には二名を派遣し充実をはかったので第二回大会の五十年九月にはだいぶ楽になったが、まだスタッフ不足の気がする。協会スタッフの養成も早急なことと考えられる。

第二回サイクルOL全国大会には二名も派遣したが成績は余りかんなばしくなかった。全国サイクルOL大会が十八才以上と年齢制限されているが、県のサイクルOL大会では若い人の養成も兼ねて十六才(高校生)以上の参加を認める方が良いと思われる。

最近県内のクラブでもサイクルOLをクラブ活動の一部として採り入れるところが多いようで大変喜ばしいことである。これからのサイクリングはレクリエーションとしてのサイクリングも、さることながらスポーツとしてのサイクリングも盛んになると思われます。地図を解説し、自分の力で走るサイクルOLは、サイクリングの新しい分野として大いに発展することでありましょう。

さあ一君もサイクルOLに参加し自分の力量をチェックしてみよう。なお協会ではサイクルOLの他にタイムトライアル、センチュリ―等にも力をそそぎサイクルスポーツ発展に努力するつもりです。

3・8	全国バイコロジ推進研究会	日本青年館
3・21	共済サイクリング講習会	CSC
3・22	企画・総務合同部会 (組織・会費・規約について)	労働会館
4・14	昭和49年度 49年度普及活動研究会	長瀬青年の家
4・24	常任理事会(リーダー育成・グループ調査)	理事長宅
5・16	全国ラリー参加者打合せ	理事長宅
5・25	サイクルOLリーダー研修会	東松山青年の家
6・1	49年度役員総会	青少年会館
6・8	1・2級リーダー養成検定講習会	青松山青年の家
6・9	第3回バイコロジのつどい	CSC
6・21	49年度中央指導者研修会(サイクルOL)	富士緑の休暇村
6・24	青少年洋上大学	沖繩
7・15	SCLO総会	労働会館
7・27	第18回全国サイクリングラリー	広島
8・1	関東甲信越ブロック代表者会議	浦和市民体育館
8・7	第16回自然公園大会	静岡・朝霧高原
9・2	JOA第13回評議員会	東京・麻生
9・14	第10回関東甲信越サイクリングラリー	

SCA事業報告書より

一、二級リーダー養成検定講習会

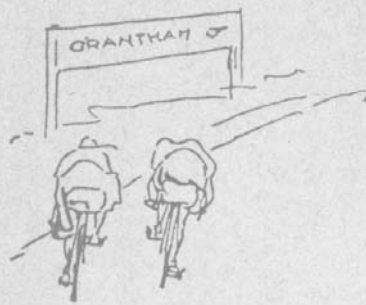
S50年6月14日～15日

規定課題(コースプランニング)ではやや難点が見られ、ペーパーテストでは事前解説があったので好成績であった。

実技の面では、輪行の分解、組立の能力の差が多く普段の経験からおよそ手つきで判定できる、中には借用自転車を目の前にして手につかない者もいた。

行動、生活態度は緊張のせいかなはなく全体のレベルは前年度に比較して向上している。

判定の結果は43名受検して22名の合格、二級合格がなかったのが淋しかった。



第十七回SCAラリー

S50年11月16日

開催趣旨に記載の通り集印サイクリングを兼ねて東部地区の四クラブの合同主管で行った。協会の新事務局移転に伴う事務局の開放や各種内容のPRも折込んで実施した。昨年に引続いて地域の組織化を狙って運営面はすべて現地に任せ、事務手続きのみ事務局が担当した。

地域が東に偏ったためか参加者が少なかつたのが残念であるが、所期の目的は充分に達成できた。

特にクラブ間の交流と協力体制の実はその日の反省会でも全員一致した所見であり、歴年の指針として継承すべきであるとされた。

従来ややもすれば県教委のみの面であったが各市の教委から関係者が参画されこの面でも充分ラリーの効果が有った。

たまたまこの日は県のおはようサイクリングと同一期日であったのが遺憾であり今後反省の一点である。

第七回クラブラリー

S51年5月22日～24日

五月開催ということで準備期間が短かつたが主管のUCCがクラブ二十周年実行委員会をそのままたクラブラリー実行委員会に切替えたのでスムーズな運営をすることができた。

例年は十一月に実施されていたがショーツで走れること、又JCA事業の少ない月という理由から五月開催に踏きつた。しかしすでに計画を立てていたクラブもかなりあり、事前広報の点を反省している。

三国越え、志賀坂越え、定峰越えと多くのコースを選んで走ってきた人が多く受付に遅れた人が数人いた。宿舎は大きな旅館であったため室もゆとりとれ、懇談会々場が八十帖と広く、クラブ紹介等もマイクを使用し成果があがった。

二日目はあいにくの天候になったが皆元気に出発、秩父の新緑を大いに味わったようであった。

かくて第七回クラブラリーは大成功の内に幕はおろされた。

6・8	6・4	6・1	6・1	5・28	4・23	3・21	3・1	2・12	1・15	1・9	12・5	11・10	11・1	10・27	10・25	10・20	9・29	9・16	8・15
第4回バイコロジのつどい・全国大会	常任理事会	普及指導員の伝達委嘱式	50年度普及活動研究会	加盟グループ一覽表作成(36グループ)	常任理事会(50年度事業計画・組合との協力体制)	皇居周辺サイクリング道路オープン	JCA指導者連絡会議	常任理事会(50年事業計画)	49年度中央指導者講習会	常任理事会	埼玉協・SCA第1回打合せ	おはようサイクリング埼玉県大会	第28回全国レクリエーション大会	第16回SCAラリー	常任理事会(組合との懇談会の件・SCAラリーの件他)	第1回サイクルOL全国大会	SCAラリー打合せ	常任理事会(SCAラリー)	埼玉県大会
関西OSC	青少年会館	東松山青年の家		青少年会館	理事長宅		上野文化会館	理事長宅	浦和小島屋	青少年会館	組合事務所	川口	佐賀	北浦和	御前崎		青少年会館	理事長宅	森林公園

SCAの一員として

熊谷市 藤野 寛

「おとうさん、手紙がきてるよ。」
帰宅すると娘の道子が言った。

私は長い懸案だった熊谷流通セン
ターへ昨年進出して、自転車卸業
を経営している者です。

今日も一日仕事を終えて帰ると、
机の上に一通の封筒が置いてあつ
た。「サイクリング・リーダーズ
クラブ」からきた一・二級リーダ
ー名簿だった。私の名前も最後の
方のついている。みているうちに
昨年東松山青年の家でのリーダー
受験メンバーの一人一人を思い出
した。クラブ員の一人一人が今日
も元気で仕事に学業に専念し、忙
しい日々の合間をみて、野山に銀
輪を輝かし、力強くペダルを踏ん
でいる姿が目に見えかぶ。

しかし、どうした事か私の頭に
暗い思いがさえぎった。前にこん
な記憶があつた。熊谷テニスクラ
ブの名簿が届いた時の事だ。みな
二十代の若い男女の名前ばかりだ
ったからだ。男子は白のスラック
ス、女子は白のショートスカートを
はき、はちきれぬ青春を白いボ
ールにたたきつけている姿を思い

浮かべたからだ。その時から私は
テニスをやめてしまった。

昨日、NHKテレビで「ビッグ
ショー」を見た。主人公の加山雄
三が海で鍛えたたくましさの体で、
みずから作曲した歌を、心をこめ
てうたっている。その時に有島一

郎との対話があり、加山は十八番
の「僕はしあわせだなあ」と言っ
て、有島の顔を見る。白髪の多く
なつた有島は、はにかんだように
うつむいてコックリうなづく。こ
の時加山は「私は子供の時は子供
の青春を、二十代ではたちの青春
を、三十代では三十代の青春を、
五十になつたら五十代の青春を、
いつも若く勇気と希望をもつて生
きるのだ。」と生き生きとした輝
かしいせりふを残した。

今まで小さくしおれてみえた有
島は急に大きく眼を開いて手をひ
ろげ「そうだ、俺にも俺の青春が
あるのだ。」とこおどりをした。加
山雄三の声はますます張りが出て
満場を圧し、有島一郎のよろこび
はみんなに希望と夢をあたえた。

私は仕事上、自転車業界に限ら
ず各業界の人々と接し、如何した
らより多く売れるか等々、よく討
論するが、業界の事のみに話題が
片寄り易い。昨年のリーダー試験
の時の事だ「キックスタートをす
ると一発でおちるよ。」と言われ

た。自転車での転倒事故は乗り出
す時が一番多いとの事、全く初歩
的な注意だ。その時から私は小・
中学生の自転車の乗り方を観察し
てみると、男子は十人中十人がキ
ックスタートしているのには本当
に驚いた。

私達業界人は売ることばかり考
えてなぜ自転車の機能と安全につ
いて指導しないのかを、充分の反
省と研究が必要だ。

子供は、安全な乗り方を自転車
店から説明されれば、必ず納得出
来るし、親や先生の注意よりも
「メカ」にも強くなるのでよく守
つてくれるだろう。そして自転車
と一語に自然に親しみ、彼らの青
春の一ページを飾るだろう。

業界の人々がより正しい自転車
の乗り方の指導に奉仕するならば
社会の人達に喜ばれると同時に、
おのずから道は開け、みずからも
幸福になれるだろう。

東松山青年の家のロビーにかけ
られた、松下幸之助の「青春訓」
はいつも「どうした」と、話しか
けてくる。

夕食のあとで思いつくままに口
述し、末ッ娘の道子に記録させた。
見ると一日の疲れが出たのか眼を
こすっている。楽しいサイクリン
グの夢を見ながらも寝る時間にな
つたようだ。

6・11	50年度役員総会	事務局
6・14	1・2級リーダー養成検定講習会	
6・15		
6・19	青少年洋上大学	東松山青年の家
6・25		沖繩
6・26	常任理事会	理事長宅
7・14	(個人会員登録・県組合との協力体制)	
7・23	49年SCLC総会・研修会	青少年会館
7・23	協会創立20周年記念大会実行委員会	
8・1	第17回自然公園大会	青少年会館
8・2		三陸海岸
8・2	第19回全国サイクリングラリー福島県大会	
9・3	常任理事会(モデルコース・他)	裏磐梯
9・6	指導者研修会(サイクルOL・他)	理事長宅
9・7		
9・21	第2回SCAサイクルOL大会	東松山青年の家
9・25	臨時役員総会	滑川村
10月	関東甲信越集印サイクリング	青少年会館
10・4	SCA事務所開き 埼玉県青少年会館・3階	
10・9	祝賀会	鈴の家
10・9	常任理事会(事務局規定)	事務局
10・10	第11回関東甲信越サイクリングラリー	
10・11	東京大会	大島
10・23	埼玉県レクリエーション上級指導者	
10・26	養成講習会	神川青年の家
10・26	第2回サイクルOL全国大会	唐津市
11月	メモリーサイクリング	
11月	51年5年	自転車広報センター

十年を振り返って

千葉 治

私が本格的にサイクリングに取りつかれて、早や十年になろうとしている。今年、SCAは創立二十周年を迎えようとしているのだが、私はその二十年の内、半年の年月を協会とかかわりあつてきた事になる。

私がサイクリングを始めた頃は一般の人達のサイクリングに対する考えが非常に貧困であつた。協会の存在を知らないのは勿論の事サイクリングと言えば「ああ、競輪かね。」と、誤解した解釈がされていた時代であつた。戦後の荒廃した世の中で、社会復興に競輪のはたした役割は確かに大きかつたと思うが、自転車を使つたスポーツと言え、競輪と言うイメージしか浮んでこないと言う考えが非常に寂しく思われたものだった。

現在においてサイクリングは、一般にも理解されつつあるのだがまだまだ理解されていない点もな

にもよく現われている。ただ自転車を売れば良い、というだけの姿勢は早く改めてもらいたいものである。

私と協会の関係は、マスコミ関係の誤解している点、又自転車を販売する側のサイクリングへの理解度の点等によるものである。マスコミ関係に於いては、ドロップハンドルに対する考え（ドロップハンドルは前傾姿勢をとる為危険である）が、一番大きな問題であろう。婦人団体の一部で根強く言われているのも、ドロップハンドルの問題である。誤解の根強さには有無を言わせないものがある。

次に自転車を販売する側の、サイクリングに対する理解の無さであるが、この事は特に輪行車の問題があげられる。すなわち、輪行車に対する認識の低さである。分解の方法、手順、輪行の際の手續等に関した知識のない事が如実に指摘できる。

私が協会員になつて、二・三年もすると協会内部の事情も多少解つてきて、多くの人々を知る事ができた。まだ協会員が千人にも満たない頃の事である。それから多くの人を知る事で私は大いに勉強させていただいた。最近特に、協会加入者が増大しているようであるが、個人会員が多いようである。個人会員ばかりの集団では協会運営はなかなかうまくいかない。よつて四九年度より、グループ会員優先措置がとられている。そこを会員相互がよく理解した時、協会運営がスムーズに行き、しいては我国のサイクリングの発展推進に寄与するのではないだろうか。私は個人会員として協会運営をしてきた、と自分では思っているが、自ずとそこには限界があつたのである。そこで私は友人や新人を加えて新しいグループ（会則にあま

11・6	常任理事会（SCAフリー・他）	事務局
11・26	第17回SCAサイクリングラリー	
11・21	第20回全国レクリエーション大会	越谷・春日部・岩槻 徳島
11・22	中央指導者研修会	
12・25	（JOAリダー予備研修会）	CSC
12・18	常任理事会（部会と理事会の関連）	事務局
1・9	緊急常任理事会（20周年行事）	理事長宅
1・14	関東甲信越ブロック新年懇談会	東京
1・23	50年度中央指導者講習会	CSC
1・26	理事会（20周年式典期日の件）	事務局
3・2	関東甲信越指導者連絡会議	上野文化会館
3・7	第1回チャレンジサイクルロードレース大会	CSC
3・7	第10回青少年の集い埼玉県大会	川越市民会館
4・17	サイクリング相談の店養成打合せ	事務局
5・8	常任理事会・指導委員会	人間青年の家
5・9	普及活動研究会	人間青年の家
5・13	指導委員会（サイクリング相談の店）	事務局
5・22	第7回クラブラリー	
5・24	UCC主管	秩父
5・27	サイクリング相談の店第1回認定試験	事務局
6・3	第20回全国ラリー参加者打合せ	事務局
6・8	相談の店資格審査委員会	事務局
6・17	指導委員会	事務局
6・19	サイクリング相談の店養成講習会	東松山青年の家
7・20		

ちなのです。だから意見の食い違いは常日頃なのです。

SCAラリーや、全国ラリーへ極力参加するよう努めているのですが、全国ラリーの準備の際、前夜遅くまでかかり、翌日は頭が振らつく状態で役員をやったり、SCAラリーのゲームを楽しんだりサイクルOLで自転車のトラブルで困ったこと。思い出としてはなかなか楽しい事ばかりで、他の趣味ではなかなか味わえないものです。

やっと二十になった協会を盛り立てるのは協会全員です。皆で協力してやるから協会だと思おうのです。これからの協会を育てて行くのが若い人達です。私たち若い者。若いグループが協力して、今後の協会運営をスムーズに運んでいきたいものです。それには各グループが連絡をとりあうことだと思います。

最後になってしまいましたが、SCA創立二十周年おめでとう。今後も皆で協会を盛り立てて行きましょう。

自然を考え直す

藤 森 寿 雄

私達現代人は、自らの手によって自然を破壊し、環境をも破壊してしまった。文化発展、経済発展のためならば、山河を捨て工場を建設し、人間としての自覚を忘れての公害問題の仕組みをこしらえた。

は果して大きくなりつつあります。ペダルを踏む、そこには生きる楽しさがあります。人との出逢い、自然との出逢い、そして自己の再発見などです。人間の老化は脚からやってきます。まず何も考えないでペダルを踏み、風と一緒に散歩し、人としての汗を流しましょう。

本当にくらしが楽になったのでしょうか。くらしが楽になる事は人の幸福と結びつくと考えていたのは間違いだったのでしょいか。もつと人間らしく、自然の中に生きたいと思わぬ人がいるでしょうか。

自分の力で自然の中を散歩できたならどんなにすばらしい事でしょう。だれもが自転車から二輪車へ、そして自動車へと乗り換えたのは、もう本当の幸福ではなくなりました。そこにバイコロジープームが生まれ、八人間復活Vをスローガンに、ペダルを踏む人の輪



6・25 青少年洋上大学

沖繩

6・28 県自転車安全教育推進委員会発会 自治会館 事務局

7・6 常任理事会・指導委員会

7・17 1・2級リーダー養成検定講習会

7・20 企画部会 入間青年の家 事務局

7・22 総務部会 事務局

7・27 SOLC総会 事務局

8・1 指導委員会(OLコース調査) 児玉町

8・7 第20回全国サイクリングラリー 熊本(阿蘇)

8・24 SOLC幹事会 事務局

8・26 常任理事会(20周年式典関係) 事務局

8・28 指導者研修会 神川青年の家

8・29 第3回埼玉県サイクルOL大会 神川青年の家

9・2 企画・総務合同部会 神川青年の家 事務局

9・12 協会創立20周年記念式典 浦和市民体育館

JCA法人化10周年記念 第17回全国サイクリングラリー

事務局日誌より

昭和47年

6・3 第1回準備委員会 浦和市民会館

7・9 第2回準備委員会 事務局

7・19 現地訪問・調査 秩父

8・16 8・17 基本構想打合せ 事務局・県

8・25 打合せ 秩父・三峰

8・30 打合せ 事務局

9・6 打合せ(予算案) JCA

9・7 打合せ(予算案) 県および県各課

ロードマンシップ

その後

杉山 弘

今更私は、紋切り型の道徳的な

お説教をする柄では無いので、お断りして置く。兎も角私もそうだが、人は一般のルールより自己中心的な行動に駆られ易い。特に日本人の多くが、自分の所属する集団の中では異常とも言える程、礼

義正しく節度があり、責任感が強いが、それより大きい集団「社会」の中では、群集の一個体として埋没させ、極端に無責任になる。

個人が無責任にルール無視を続けられない環境を作らなければ、如何に時間を掛けて論議を重ねようと自分の所属する集団「家庭」「職場」「知人関係グループ」等

以外の人への、非情な無関心と冷酷さへの改革が無い限り、交通法規ひとつ守れる心は育たない。更に邪魔だ、と云わんばかりの眼が自動車の窓から自転車を押退け、早く通れ、と横断歩道の人影に光る。また歩行者のつもりか、対面交通教育による習慣本能か、型通りの机の上の学習や耳学問では車両交通の初歩、自転車のルールは

身につかないのか、右側を悠々と列を作る多くの、本当に多くの小中学生の自転車の列に呆き返る。

しかし、その後からこれも実に多くの母親が、時には子供達の車の先頭に立ち、堂々と右側通行をやつてのけ、信号無視のおまけ付きで通り過ぎる。

私は自転車での旅の途中や、用事の途中で、反対から来るこれら女性達からしばしば「ぶつかるじゃないの、危ない人ねえ」と云われた経験がある。

どちらがルール違反かではない。私が彼女達に有害な存在なのである。また、自動車やオートバイクと取り違えてか、センターラインの上で乗用車に埋もれて右折する自転車の中年紳士、相当しつかりした人々が経験する乗用車のハンドルを握る時の緊張と緊張の間に過ぎる恐ろしい意識の空白の時間、人が不完全なものと言う俗説に自分も一個人として従いたくは無いのだが、過去現在と余りにも多く

その証処を見て来てしまっている。私達は、唯単に、他の交通機関から施設によって分離するか、規則を練り直すしかないのだろうか。機械として完成された自転車も、優れた運動能力とルールに適した適切なコントロールや、緊急時の場合の判断と、これに敏速に反応

する反射神経が伴わなければ多少無意味である。

しかし、現在までの数多くのデーターによると、交通事故件数の内、特に自転車に関りあいのあるものの中で、現在まで特に重要視されて来た機械としての自転車の不良によるものが、なんと全体の三、四パーセントをも越えていないと云うのも皮肉な話である。つまり九七パーセントまで乗り手、即ち人の側の問題で悲劇が起こったことになる。

貰い事故の場合も人の責任に帰すべきものが七五パーセントと云う数字が示す通り、日本人の道徳感と、幼児及び少年期に人間愛を基礎とした、公共に対する責任感を養い、充分な屋外での身体的な遊びの中での運動能力開発の方が、むしろ、この交通戦争を小さくする一番適切な、今日的な解決策であると思えて来る。

何故ならば、自転車は人の体力をエンジンとし、人の頭脳をコンピュータとする自動操縦装置のついた交通機関だからである。今まで通り、他人や、人間以外のものへの責任転嫁が続けられる限り、この交通戦争の火は拡大を続けるのではないだろうか。

9・11	打合せ(記録・ガイド映画)	理事長宅
9・13	第1回実行委員会	食環センター
10・7	打合せ(記録)	北本
10・10	打合せ(全体)	浦和
10・11	打合せ(現地)	秩父・荒川・大滝・三峰
10・16	打合せ	大宮
10・18	第2回実行委員会	食環センター
10・18	事業部会(集団コース)補助金打合せ	浦和
10・28	事業部会(集中コース)	打合せ
11・5	事業部会(エキスカリジョンコース)	大宮
11・8	第1回現地実行委員会	秩父
11・13	15・16 18・19 コース調整	秩父
11・21	打合せ(写真コンテスト)	東京
11・22	コース調整	秩父
12・1	3 事業部会(集中・エキスカリジョン)	浦和
12・4	7 総務部会(財務・ユニホーム)	浦和
12・20	第3回実行委員会	浦和市民会館
昭和48年		
1・17	事業部会	大宮
1・19	24 打合せ(県警・記録・輸送)	秩父
1・29	第2回現地実行委員会	秩父
1・31	打合せ(県警・県・浦和市)	秩父
2・5	8 打合せ(記録・交通)	大宮
2・18	事業部会	大宮
2・20	22 25 28 コースマップ作業	大宮
2・21	総務部会(道標・記念品)	浦和
3・1	4 5 11 26 コースマップ作業	大宮
3・5	7 8 調査・打合せ(道標・記録)	秩父
3・13	総務部会(ユニホーム・記念品)	浦和
3・25	事業部会(エキスカリジョンコース)	大宮
3・28	道標委員会	秩父
4・1 5	10 12 22 30 コースマップ作業	秩父

中津川（奥秩父）

関口 章

広告用の写真を撮ろう、などと最もらしい理由をつけてサイクリングに出かけた時の話である。

ライトパンの屋根に、三台の自転車に乗せ正丸峠へ向かって走っていると、先方に背を丸めて必死にモガいている三人のグループに逢った。私がこの道を走った時は台風の時、ポンチョを着ても汗で全身ビショぬれになるので、ポンチョを脱ぎ捨てた。横なぐりの大粒の雨にワイバーのついていない眼鏡は役に立たない。なのになぜ、頂上を目指したのかそんな想出が甦がえった。

ふと三人を見ると、自動車で登るなんて、ズルイゾノアーツカレー……になくそ、等とその走る姿に表情を見た様な気がした。正丸峠を越えた車は、三峰と中津川の分岐点、大滝村で道路を拡幅したドライバーのための休憩地に小さく自動車を駐車した。

前の酒屋でポケットウイスキーを買い、一口つけてベタルを廻す人となった。

日曜日といっても、車の通りもなく、道行く人の影もない。そんな静かな坂道の村である、緑の色もこく、ここも埼玉か？ と不思議な思いである。それでも時折、お店らしい家並がすぎて村はずれに来た時、真新しい観光道路がねむそうに横たわり屋根伝いに、手を伸ばそうとしている。

旧道を選んだ私達は、左に川の音を聞き、右につる草の下った山肌を見てシャッターを切る。草木のトンネルが過ぎ、橋を渡る、そんな景色のくりかえしである。ダム建設反対の立札がやたらに目につく村に入って、方向を無視した観光案内板の前で、この村の名物を探そうとしている時、野良着姿の老人が現われた。

これ幸いと、ポケットのウイスキーを注ぎながら、この村の名産はなにか、と聞いて見た。

お酒が入って老人は少し明るい表情になって「この村には名産はなく、民宿以外に食堂もないよ。もしよければ私の家に寄らないか」と、親しげに話してくれたので、私たちはオジャマ虫に変身した。

外から見たこの家は、屋根が低くトタン板は土手の傾斜に、ただ並べてある様に思っただが、中に入ってびっくりした。百年近く生きつづけて来た柱や、格子模様

の間切は太く大きく、まっ黒くかがやき、うるし塗かと思わせる。白木で作ったこの家がすすでこの様になったと、胸を張って言われた時は人生の重みを感じたものだ。サイクリングも年輪を深めれば、うるしの様に美しく見える時が来るであらう……。

次に三人の息子は故郷を出て、都会に世帯を持った事。又この土地はダム建設のため、水底に消えるであろう事を真剣に訴えるのである。都市化が進むにつれて水資源確保のために、住みなれた家や土地を奪われる人達が沢山いる事を、もう一度考えて見る必要があるのではないだろうか？

毎日使う水道も心して使わねばなるまい。

老人が、この里を去る時は柱と格子戸を大切に持ち出すとの事であった。

私には、これがあると、胸を張れる何かをつかんでおきたいものである。

うしろめたい気持ちで別れを告げ車上の人となるが、ダウンヒルを飛す頃は、自然の恵みで楽しい気分にはさせられるから不思議である。でも老人の事が強く心に残った旅であった。

7・22	7・17	7・14	7・11	7・11	7・7	7・7	7・4	7・4	7・3	7・3	6・23	6・20	6・16	6・13	6・7	6・7	6・6	5・21	5・19	5・12	5・9	5・8	5・8	5・6	4・24	4・11	4・9	4・8
現地研修会	打合せ	全体会議	打合せ(日赤)	打合せ(輸送)	打合せ(東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬)	打合せ(東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬)	打合せ(東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬)	打合せ(東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬)	打合せ(東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬)	打合せ(東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬)	打合せ(東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬)	打合せ(東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬)	打合せ(東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬)	打合せ(東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬)	打合せ(東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬)	打合せ(東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬)	打合せ(東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬)	打合せ(東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬)	打合せ(東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬)	打合せ(東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬)	打合せ(東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬)	打合せ(東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬)	打合せ(東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬)	打合せ(東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬)	打合せ(東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬)	打合せ(東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬)	打合せ(東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬)	打合せ(東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬)
長瀬・秩父・荒川・大滝・三峰	大滝・小鹿野・秩父	大宮	西武・秩父・長瀬	西武・秩父・長瀬	東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬	東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬	東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬	東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬	東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬	東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬	東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬	東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬	東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬	東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬	東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬	東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬	東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬	東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬	東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬	東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬	東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬	東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬	東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬	東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬	東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬	東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬	東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬	東松山・小鹿野・荒川・秩父・長瀬

クラブ紹介

浦和サイクリングクラブ

特色

組織上に会長を置かず、会員全
てが代表者である。

毎年若い中堅メンバーから、運
営委員が選ばれ、先輩グループに
特別行事の運営や、日常活動の助
言をお願いしている。

会員は必ず、運営委員を経て先
輩グループに加わるが、活動歴、
グループワーク、人柄が行事に影
響を見せ、楽しくもある。

活動状況

第十七回全国ラリー、第十回関
東信越ブロックラリーのアシスト、
また、第七回クラブラリーの主管、
クラブ創立二十周年行事も滞りな
く終了し、今後はクラブ発展のた
めに力を傾注したい。

ミーティング、クラブランは月
一回、他に恒例行事として、初詣
でラン、夏の一泊ラン、忘年パ
ーティーがある。ブライベートラン
は随時行われ、秋には古参メンバ
ーの主催するツーリングもある。
他に好きな者同志で、夜這いの
ラン・OL会、タイムトライアル
等を行っている。

浦和ベルフレンズクラブ

特色

これと言っていないが、輪行サイ
クリストの集団と見ていいグルー
プで各人クラブ員が自分の好みで
走り回っている。中には山岳サイ
クリングに、又はクラブラン専門
に、又はレース中心にと、悪く言
えばまとまりのまったくないグル
ープになっている。だれか中心人
物的リーダーの出現を切望してい
るしだいです。

活動状況

毎月一回荒川サイクリングコー
ス上を利用して第三日曜日の午前
八時から十七・五キロメートルを
レース型式でタイムをとって走っ
ている。

あとは各人輪行が目的で入会し
ている人が多いので、個人個人ル
ールを守り楽しんでもらっている。
なお山岳サイクリングで奥
武蔵の山々及び秩父を中心に走り
まわっているの、希望者をその
つど連れて走っている。秩父札所
めぐり、坂東札所めぐりに活動の
中心をおいてゆく予定。

秩父サイクリスト ツーリングクラブ

特色

青少年活動の一環として創られ
たが、現在高校生がクラブの半数
を占めています。定例会は高校生
が主体となつて行われるため、他
に女子部会、成人部会を設けてク
ラブの一体化を保っています。

活動状況

「定例会」毎月第一金曜日、公
民館のロビーで。

「クラブラン」二月から十一月
迄の毎月一回。その内三回は、研
修を兼ねた一泊サイクリングで、
これは、クラブの成長に大いに役
立っています。他に三ヶ月毎に女子
だけでクラブランがあります。

夏休みには特に、週一回のモー
ニング・ランと週二回のナイト・
ラン、そして楽しいキャンプがあ
ります。

「普及活動」市青少年団体連絡
協議会と、市レク協会に属して他
のグループとの交流を図っており、
市民サイクリングと長瀬青年の家
主催のサイクリングには、主管と
して全面的に協力し、サイクリン
グの普及に努めています。

7・26	打合せ	小川・荒川・秩父
7・27	全体会議	秩父
7・28	打合せ・スーベニア準備	大宮・浦和
8・1	本部事務局移動(秩父)設置準備	
8・4	大会	
8・6	事務整理・秩父郡内挨拶	
8・18	21 事務整理	浦和
8・25	大会反省会	浦和
9・12	事務整理・挨拶等やつと二段落	
第10回関東甲信越サイクリングラリー		
事務局日誌より		
昭和48年		
10・29	準備委員会	浦和
11・6	16 打合せ	県教委
11・24	準備委員会	大宮
12・10	19 打合せ	県教委
12・12	コース・宿舍現地調査	滑川・長瀬・熊谷
昭和49年		
1・23	幹部会議	浦和
2・2	打合せ	県教委
4・10	打合せ	県教委
4・24	幹部会議(指導委員会)	浦和
5・15	現地調査	東松山・滑川
5・20	打合せ	県教委
5・22	幹部会議(実行委員会準備)	浦和
6・3	打合せ	県教委
6・22	第1回実行委員会・小委員会	浦和
7・9	打合せ(会場)	浦和市民体育館
7・10	打合せ	通達市町村
7・17	コース部会(現地調査)	浦和・滑川

かざぐるま

特色

狭山周辺の在住者（登録会員八名・非登録会員十名）で構成されています。

会員の仕事がそれぞれ異なるので、サイクリング活動は日曜日しかできず、会員全員が集まることもなかなかありませんが、数人づつ機会をつくりながらがんばっています。

活動状況

協会に加盟してからは、十和田湖へ五名（男三・女二）で輪行しました。その他梨狩りをしたり宮沢湖・奥多摩湖などに、個人では奥武蔵・秩父・奥多摩などへ行っています。

また他団体と合同サイクリングを企画し、すでに二団体と行い、一回目は二十名参加で、毎日通勤に乗っている人、しばらく乗ったことがない人等いろんな人達で、楽しいサイクリングでした。

二回目は十五名の参加で、現地まで自転車・電車・トラック等で森林公園へ行き、四才の子供も自転車に参加しました。

その他青年団体の中に積極的に入って行きサイクリングの楽しさを話すようにしています。

川口市

サイクリング連盟

特色

当連盟は市体育協会、市レクリエーション協会に加盟している関係で、サイクリング活動はもとより、市内外の各種関係団体の行事に参加、特に自転車競技大会に参加する選手の養成をしたり、サイクリングを通して市民の体位向上を図っております。

又、自転車組合川口支部で主催するサイクリングの行事をすべて引受けております。

活動状況

中小企業と一般社会人が、多いので、サイクルツーリングは無理なのであり、日帰りのサイクリングを年間五回位の計画し、実施しています。毎月一回ミーティングを第二土曜日に開いています。

市民サイクリングは、春と秋に行い、市民自転車競技会、記録会等も川口オートレース場で年間行事として一・二回ぐらい実施しています。お早ようサイクリングを五月より九月末日の毎日曜日、六時から八時頃まで青少年の指導を兼ねて実施しています。其の他会員の親睦を計る為に冬はスキー、新年、忘年会のパーティーを開いている。

九閑鳥クラブ

特色

「みんなでレクリエーション、みんなが健康、なんでも楽しむ九閑鳥」これがクラブのキャッチフレーズ。

スキーで集った仲間同士意気投合したのが九人、九官鳥のようにおしゃべりが好きで、ひま（閑）をみつめて楽しもうと、三十六年クラブは誕生しました。

以来サイクリング、キャンプ、スキー、ドライブ等、野外レクリエーションを主に楽しんでいます。会員は約半数が女性で、ファミリー会員が多く、例会は偶数月の九日午後六時頃から、想い出や行事について大いに語ることにしています。

活動状況

野外レクを中心に、種目別に主だった人達で計画、会員に案内します。参加は自由です。

サイクリングは年四回ぐらい、輪行用車の知識等、研修会も開催しています。

みんなで市広いレクリエーションを楽しみながら、お互いの親睦を深め、健康で豊かな人生を送ろう。というのが「クラブの信条」なのです。

7. 18	19	コース部会	浦和
7. 19	打合せ（会場）	浦和市民体育館	浦和
7. 21	28	コース部会	浦和
7. 20	24	庶務部会	理事長宅
7. 24	打合せ	県警	桶川
7. 27	8. 10	渉外	県各課・県教委・県庁
7. 30	31	打合せ	理事長宅
8. 3	7	庶務部会（参加名簿整理）	理事長宅
8. 7	コース部会	現地調査	浦和・滑川
8. 10	第2回実行委員会	浦和市民体育館	県教委・県警
8. 12	打合せ	県庁・大宮	浦和
8. 13	14	第2案コースマップ作図	理事長宅
8. 14	コース現地調査（第2案）	浦和・滑川	県警
8. 15	打合せ	浦和	浦和
8. 15	渉外（埼競協。市体協）	理事長宅	浦和
8. 15	18	庶務部会（参加者名簿整理）	理事長宅
8. 19	打合せ	県警・県教委・県各課	浦和
8. 20	渉外（安全管理部会）	大宮・浦和	浦和
8. 21	小委員会（各部会の問題点）	理事長宅	浦和
8. 21	打合せ（宿泊・給与部会）	浦和	浦和
8. 22	各警察提出用コース図作成	理事長宅	東京
8. 22	庶務部会（記念品）	浦和・滑川	浦和
8. 23	コース現地調査（県警）	理事長宅	川島・滑川
8. 23	渉外（県教委）	理事長宅	浦和市民体育館
8. 24	宿泊給与部会・庶務部会	浦和・滑川	浦和
8. 25	式典・会場部会	浦和・滑川	浦和
8. 25	合同演習	浦和・滑川	浦和
8. 25	庶務部会（会計処理・会場案内図）	理事長宅	浦和

久喜サイクリスト・ユニオン

ユニオン

特色

私達クラブは、フリーランが多く、皆、思い思いに走っています。一ヶ月に一度か、二ヶ月に一度のミーティングの時に、思い出話に花が咲きます。会員は年令が高いので、もう少し若い人に入会してもらいたい、クラブの若返りをはかりたいと思います。

今後、ジュニアクラブを作り、安全なサイクリングというものを追求してみようと思います。

活動状況

現在のところ、フリーランが主になっています。二、三ヶ月に一度、一般募集して、行いますが、雨が降ると、延期し、その後、日取りがなかなかとれない状態です。私のなまけかもしれません。これから、クラブラン、ミーティング等、どんどん行いたいと思っています。

越谷

サイクリングクラブ

特色

当クラブは越谷市を中心に、サイクリングに興味のある人たちによって、六年前に結成されました。越谷市レク協会に加盟しており、越谷市教育委員会の社会体育課、社会教育課などと協力関係があります。

会員は中学生から六十歳台まで幅広い年令層の人で組織されています。

活動状況

毎月のクラブラン、夏に行うサイクルキャンピング、春夏秋冬に一般募集して行う市民サイクリング、おはようサイクリング等、季節やコースに特色をもたせ、楽しいサイクリングを実行しております。クラブランは昭和五十年十一月からは、関東甲信越集印サイクリングを参考にして、関東各府県の四十余所の集印を行いました。サイクルキャンピングとしては、筑波山を中心として行いました。市民サイクリングは、少し遠出して、軽井沢、伊豆大島等に足を延ばしております。若い女性も多勢参加し、サイクリング愛好者が増えつつあることは喜ばしい限りであります。

サイクリングクラブ

地平線

特色

小人数ながら、以前からのサイクリング仲間五人が集まって、正式にクラブを結成したのが、昭和四十八年、当初、大宮を中心にして活動を始めたが、メンバーの大きな入れ替りもなく、今年で四年目である。現在、クラブ員は各地に分散しており、連絡は、久喜を中心にして、活動している。メンバー五人、平均年令二十三才、こじんまりとしているが、若々しくファイトあるクラブである。

活動状況

原則として、毎月、又は、隔月のミーティングか、クラブランを主体として活動している。また、それと同時に、各クラブ員のカラーを活かすという立場において、各人によるサイクリングも重視している。そして、ミーティング時に、各人の計画、成果発表、それに対しての討論などを、行っている。他に、文章等による連絡も確実に、クラブの緊密化をはかっている。クラブ員が、各地に分散しているという、悩みはあれど、結束力、若さにより、希望のあるクラブである。

8.26	式典・会場部会	安全管理部会	川口
8.27	庶務部会(参加注意印刷。荷造り)	理事長宅	浦和
	渉外(安全管理。宿泊給与部会)		浦和
	コース部会		浦和
	渉外(県・機動隊)	大宮・浦和	
8.28	庶務部会(事務整理)	理事長宅	浦和
	打合せ	県警	
8.29	部長会議	理事長宅	浦和
8.29	式典・会場部会(バトントアラー)	西高	
	コース部会	浦和	
8.29	打合せ	県教委	
8.30	庶務部会(印刷物発送準備)	理事長宅	浦和
8.30	式典・会場部会	コース部会	浦和
8.31	打合せ	県警	
	コース部会	浦和	
9.1	庶務部会(旅館案内図作図印刷)	理事長宅	浦和
9.1	2 庶務部会(名簿読み合せ。他)	理事長宅	浦和
	コース部会		浦和
9.3	渉外(案内書)	浦和・大宮	
	コース部会	浦和	
9.4	庶務部会(名簿最終編集)	理事長宅	浦和
	現地打合せ(コース・会場部会)	浦和・滑川	
	打合せ(会場)	浦和	
	リボン作り(コース部会)	理事長宅	浦和
	コースマップ版下仕上げ	理事長宅	浦和
9.5	打合せ(式典・会場・宿泊・給与・庶務)		浦和
9.5	打合せ(コース部会)		浦和
9.6	渉外(案内書)	浦和・川越	
	打合せ(宿泊。給与・庶務部会)	理事長宅	浦和
9.7	第3回実行委員会	浦和市民体育館	
	渉外(案内書)	桶川	
9.8	宿泊・給与部会(昼食)	大宮	
9.8	コース実走(最終調査)	浦和・滑川	



埼玉大学

サイクリングクラブ

特色

当クラブは、今年、創立三年目であり、歴史は浅い。しかし、大学のクラブという性格上、同年代の人ばかりで、休暇も一緒なので活動はしやすい。また、長期ツーリングも比較的容易に行える。

サイクリングのみならず、学内で、お互いよく顔を合わせられるので、仲間としての意識は強い。また他の運動クラブのように、先輩後輩の格付けは強くない。従って、和やかな雰囲気を持つていることが、クラブの一番の特色であり、これからも持ちつづけで行きたいと願っている。

活動状況

原則として、毎月一回、一泊程度のクラブランを行うことになっているが、試験などを考慮すれば、年七回が限度である。主な年間行事には、五月の新歓ラン、八月は一週間程度の夏合宿、十月には二泊程度、三月の春合宿が掲げられる。ミーティングは、毎週一回行っているが、結構出席率はよい。時には、漫談のようになってしまふのは、親しさの現れなのだろうか。それとも……。

狭山

サイクリングクラブ

特色

当サイクリングクラブは発足して三年を迎えた。初代会長は自転車で行けるところは何処までもと昨年世界中をまたに約一年間走破してきた。そこに貴重な体験を積み重ね当クラブにとって良きアドバイザーとして活躍しています。

狭山市の文化体育協会にも加入しており、市の行事にも積極的に参加し市民を主体に活動しています。すでにJCAの二級リーダーも二名を数え「汗を流して走ったあとのダイゴミ」を沢山の人知ってもらおうと頑張っています。

活動状況

クラブランとしては近郊の穴場コースが殆んどで二ヶ月に一回です。その中には「武蔵野七福神」「狭山茶つみめぐり」「鎌倉旧街道めぐり」「入間川沿いコース」「まつり見物」「市内めぐり」等を行いました。その他にもクラブが中心になつて市民サイクリングを年一回、計画から実行しています。もち論、ソロも適当に好みのコースを走っています。サイクリングだけでなく会員相互の親睦の輪も深めています。又会報「古道」も発行しています。

しらさぎ

サイクリングクラブ

特色

結成一年生の、よちよちクラブです。メンバーも高校生主力の、若さに満あふれたクラブです。学生相手の為に、学業とのかみ合わせ等で、抱負や予定が色々あるのですが、人員の割には、活動らしい活動はありません。今の所もっぱら、体力作りに力を入れています。地域的に、荒川サイクリングコースに近いので、早朝等各自で、気分によかせて走っている程度です。

特色や制限等何もなく、特色の無いのが特色のようです。一人でも多くの同好者に、参加してもらうよう呼びかけたりして、努力して、一人立出来るよう全員でがんばっている現在です。

同好者の集りとして、青空の下に若さを取りもどそう。特に中高年者女性会員等特に、力を入れて募集勧誘して花を咲かせたいと思っています。



9・9	庶務部会（名札記入・リボン整理）理事長宅 渉外（案内書） 庶務部会 北本・理事長宅
9・10	庶務部会（旅館案内図・給与引替券作成） （会計処理・他） 理事長宅
9・11	部長会議 各部会機材点検 理事長宅
9・12	資料袋調製（県外参加者用） 渉外（教育委員会・浦和市） 理事長宅
9・13	資料袋調製（来賓・県内参加者分） 各部会機材搬入 浦和市市民体育館 宿舎打合せ 浦和
9・14	関東甲信越サイクリング協議会 式典・アトラクション・リハーサル 浦和市市民体育館
9・15	第10回関東甲信越サイクリングラリー 埼玉県大会 浦和市市民体育館・浦和・滑川 川口・浦和
9・16	事務整理（各部会） 理事長宅
9・17	関係機関挨拶 県庁
9・18	部長会議 理事長宅
9・19	関係機関団体挨拶 浦和・滑川
9・21	協賛商社挨拶 桶川
9・21	事務処理 理事長宅
9・28	関係機関挨拶 与野・大宮・川越
10・5	実行委員会反省会 浦和
10・15	事務局（庶務部会）反省会 浦和
10・31	事務局解散 事務局

たじま スポーツサイクリ

クラブ

当クラブは、これと云った特色は
ありませんが、サイクリングの
事なら何でも云う所です。

活動状況

サイクルスポーツの事なら、ツ
ーリング、ナイトラン、タイムト
ライアル、ロードレース等何でも
やってみようと集まって出来たク
ラブですが、結成してからの日が
浅いため、これと云った活動は行
っておりません。

ミーティングの日も、決った日
はないのですが日曜日等、好きな
人が店に集り、色々と話をしてい
ます。仙台に行った話、峠越えの
話を聞いてそこへ行ったりしてい
ます。

これから段々と活動を広げて、
色々な事を行いたいと思います。



羽生第一サイクリング

クラブ

特色

県北で最初に発足した、地域年
令、性別不限定のクラブです

現在責任者の住所を冠してい
ますが、会員の所在が広範囲にな
ったので、クラブ名称変更を考え
ております。

会員は高校生から会社重役と多
彩ですが、平均年齢二十八才と少
しヒネてますので、若人の参加を
求めている。自転車業界に関係す
る者が多くメカと技術に精通して
いるのが自慢です。一級一名二級
三名のリーダーを擁してサイクリ
ング技術の指導にも充分の体勢を
整えてきました。

活動状況(五十年活動)

全国ラリー、自然公園大会、S
CAラリー参加、クラブラン二回、
利根サイク道路に指導員の派遣

昨年迄は年令差のため全員集ま
る機会が少なく、個々に走り情報
交換するケースが多かったのです
が、今年はクラブラン、ミーティ
ングの回数を増すと同時に県内各ク
ラブと交流を深めて行きます。

勿論各ラリーは積極的に参加し、
クラブランを通して、若い人達を
リーダーとして育成し、クラブの
中心として活動して頂きます。

パターンリンの隣の家

特色

私たちのグループのクラブカラ
ーとしては、会員が県東南、中央
に分散している為、ミーティング
を主体とした会員相互の連絡、交
流、親睦を計っております。会則
の中にも書かれています。会則
はミーティングを重視し、個
人を重んじ、互いの生活をクラブ
ライフを通じて向上させて行こう
とする者が集まり、会の運営は全
員で当たるとい事が主旨として
盛り込まれております。

会員各々の都合で走り方も様々
ですが、世の中の流れに乗ってか、
競技用車を改造してのサイクリン
グをする者が多くなってきました。
しかし、ツーリストの心は忘れて
いないようです。

活動状況

会則にある如く、協会行事には
もちろんの事、関係団体行事へも
積極的に参加するよう務め、ミー
ティングも月一回程度行っており
ます。クラブランは会員の都合等
により、二ヶ月に一回程度実施し、
会員相互のブライベートランに活
動の主力を置いていきます。



渡し舟

国府田 正 美

寄 居

サイクリングクラブ

特 色

本クラブは、サイクリングを趣味とし、自然を愛好する仲間の自主的集結により成り立っている。

まず第一の特色としては、自然との接触、保護、研究を最終目的にしており、会員のなかには、サイクリングに限らず、登山、キャンプ、オリエンテーリングなどにも積極的に参加している人もいます。

第二の特色としては、クラブランやミーティングによる会員相互の親睦を図ることが積極的に行われていて、会員はサイクリング以外にも各種の趣味をもっており、いろいろと良い影響を与えています。例えばクラブ員全員がアマチュア無線技士の免許を所有しており、ミーティング・タイムトライアルなどに無線を使ったりしています。また写真に凝っている人は、クラブランの写真をお願いしています。

活動状況

月一回のクラブランではおもに時間の都合からくる日帰り、秩父方面の山や峠を走っていますが、夏には二泊三日位の峠越えを計画しています。

らくだ

サイクリングクラブ

特 色

我々らくだサイクリングクラブ（C、C、C）は、今年で三年を迎える若いクラブです。

らくだという名前が示す通り地域のクラブではなく、どこに住んでいる人でも入会でき、現にクラブ事務所（越谷市）を中心に、中学生から大正生まれの人まで男女問わず活動しています。

SCOAの行事には四十八年のサイクルOL研修会を皮切りにプロックラリー埼玉県大会、SCOAラリー、サイクルOL等、常に数名のクラブ員が参加してきました。

活動状況

月一回のクラブランはクラブ員が持ち回りでプランを立てるのでボタリング、ナイトラン、パスハントニング等、毎年違った走り方で楽しく運営しています。

過去、サイクルOLは五回行い今年からは、クラブランと別に五月と一月の二回として、地図の読解力の向上を目指しています。

その他、二泊三日の夏のキャンプや、初日ノ出ランで、雑煮を煮ながら日ノ出を見たり楽しく活動しているクラブです。

わらび

サイクリングクラブ

特 色

わらびサイクリングクラブは、三つのクラブより構成されている。

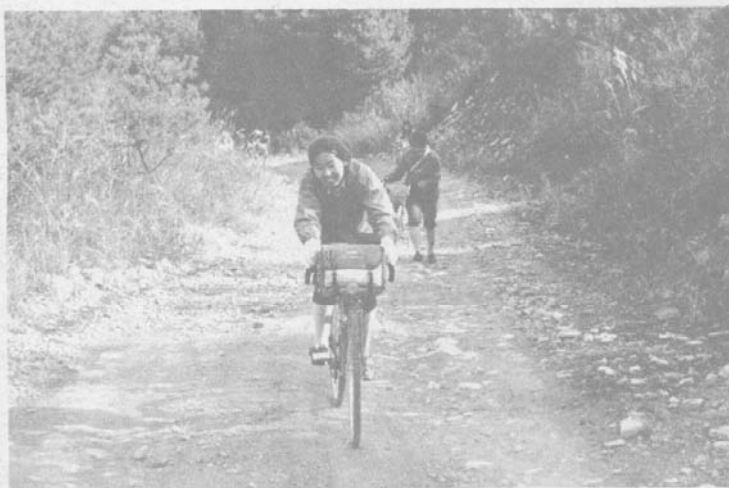
高校生、一般を中心としたクラブ、小・中学生と初心者を中心としたクラブ、地域の友だちを中心としたクラブで、おのの性質を異にしたクラブである。

わらびサイクリングクラブの特色はこれらのクラブをまとめているいろいろな行事を行っていくところにある。クラブは、蕨市青少年団体連絡協議会に加盟しており、他団体との交流がさかんのも特色である。

活動状況

各々特徴をいかしたサイクリングを行っている。高校、一般を中心としたクラブは、二カ月に一度のクラブランを中心に、ミーティング、研修会を行っており、小・中学生と初心者を中心としたクラブは、お早うサイクリング、初歩のサイクリングを行い、地域のグループのクラブは、仲間同士のクラブランを楽しんでいる。

クラブ主催、共催行事は、市青団連との、青少年まつり、三市研修会、サイクリングクラブ研修会、市民サイクリングの開催などがあります。



私乗る人、僕押す人 渡 辺 広 次



春日部
サイクリングクラブ

特 色

当クラブは、昭和四十六年春日部市レクリエーション協会発足と同時に組織された。当クラブは、レクの普及、体力の向上をあわせて、サイクリング技術向上と交通道德を学び、また会員の親睦を図ることを目的として活動しています。

行事としては、小中学生、一般を対象としたサイクリング教室を数多く行い、サイクリング人口を増大することをはかってきました。当クラブの活動費は、会費及び市レク助成金によって運営されています。現在クラブの組織拡大のため、会員募集を行っています。

土 合
サイクリングクラブ

特 色

私達のクラブは、クラブランなどは余り行わない。小人数の為ブライベートルン——クラブランと云うような形になっています。峠越えが主体となっています。

活動状況

活動は活発と言えるかどうか分らないが、月に三回は「いっしょに行こう」と出かけます。クラブランは年に二回。一・二泊で近くへ行行って、情報交換とか、サイクリングの時起きたハプニングなどの話をして、ドジを起こした人を含めて楽しんでいる。

ただ今部員募集中です。

愛輪遊学集団

特 色

「自転車を通かい気持ちで乗り、よその土地に行つて学問を学ぶ集団」

交通機関はすでにエネルギー不足と公害問題の両者がかかっています。新幹線、飛行場、武蔵野南線、幹線道路などの騒音問題とあわせて、自動車の排気ガスは共に人類の生活への不安、恐怖とつながっています。それによってバイコロジは最近、一種の連鎖となり、おおきな自転車を考え直すブームになっています。愛輪遊学集団（愛遊団）は文化の発展と共に生じる問題に人間らしさを求めて、昭和五十一年三月三十日に同志を得て結成しました。

現在、浦和青年の家の文化教養クラブに籍を置き、五名のクラブ員がひとりひとり独自の考えを持って活動しています。愛遊団は人と人との出逢いを最も大切にして、歴史にふれ、自然にふれるサイクリングを目的としています。

ペダルを踏み汗を流す事は、今一番、現代人に忘れられているスポーツで、だれにでも簡単に身近で健康保持の為に役立つと我々「愛輪遊学集団」は個々自覚する。



一 覧 表

(順不同)

	グ ル ー プ 名	連絡責任者名	住 所	郵 便 号	電 話
31	ときわサイクリングクラブ	国 分 秀 夫	浦和市常盤10-1-14	336	0488 31-6267
32	所沢サイクリングクラブ	中 野 正 治	所沢市金山町12-17	359	0429 22-2026
33	長谷川輪業サイクリングクラブ	長谷川 清	朝霞市栄町2-11-18	351	0484 61-3689
34	羽生第一サイクリングクラブ	飯 塚 政 夫	羽生市上新郷5949	348	0485 61-1289
35	バ タ ー ソ ンの 隣 の 家	千 葉 治	上福岡市上福岡5-9-23	356	0492 61-0052
36	フジカサイクリングクラブ	永 井 義 和	川口市元郷3-9-7	332	0482 23-8779
37	ブリヂストンサイクル工業株式会社 サイ ク リ ン グ 部	丸 山 泰 弘	上尾市浅間台470-2	362	0487 75-4252
38	むさしのサイクリングクラブ	高 橋 透	志木市上宗岡1-4-3-302	353	0484 72-1206
39	モ ー リ ー ク リ ケ ッ ト	渡 辺 升 晶	熊谷市16間839 航空自衛隊業務部通信課	360	0485 32-3554
40	寄居サイクリングクラブ	保 泉 孝	大里郡寄居町露梨子441	369 -12	0485 86-3351
41	らくだサイクリングクラブ	金 子 真 一	草加市花栗町488	340	0489 25-0318
42	わらびサイクリングクラブ	伊 藤 育 功	蕨市塚越1-18-10	335	0484 41-3721
43	愛 輪 遊 学 集 団	藤 森 寿 雄	大宮市大成町1-5 国鉄アパート11-1	330	0486 65-6199
44	大宮中央サイクリングクラブ	斉 藤 隆	〃 大門町2-23	330	0486 41-0601
45	カワセミサイクリングクラブ	秋 広 晴 一	春日部市大枝87-1	344	0487 36-3886
46	クラリオンサイクリング同好会	沼 野 利 雄	大宮市下町1-43	330	0486 42-5730
47	グリーンベルサイクリングクラブ	嶋 影 恭 彦	浦和市田島192	336	0488 62-8050
48	グ ル ー プ ぼ ん く は	高 橋 幸 一	川口市青木西1-20-16-1 高木荘	332	
49	(財)埼玉県ユースホステル協会 サイ ク リ ン グ 部	阿 部 静一郎	浦和市岸町3-17-42 県青少年会館内	336	0488 22-0131
50	さいとうサイクリングクラブ	斉 藤 斉 一	新座市新堀2-16-21	352	0424 91-1342
51	シーガルサイクリングクラブ	田 島 征 典	所沢市東町11-16	359	0429 22-2277
52	ダ ッ チ サイクリングクラブ	松 本 好 夫	浦和市常盤6-2-14	336	0488 31-7552
53	ダルマサイクリングクラブ	中 野 行 正	春日部市粕壁東1-16-3	344	0487 52-2429
54	深谷サイクリングクラブ	高 橋 茂 雄	深谷市幸町3-44-1	366	0485 71-1921
55	マミヤ光機サイクリングクラブ	石 井 辰 夫	与野市大戸948長谷川方	338	
56	ローカルサイクリングクラブ	篠 原 芳 朗	蓮田市東3-6-18	349 -01	0487 68-1902
57	川口キューボラサイクリングクラブ	田 口 隆 央	川口市栄町1-10-29	332	0482 22-6712
58	川口東サイクリングクラブ	小 川 重 一	〃 領家2-4-13	332	0482 22-6577
59	川口西サイクリングクラブ	坂 本 良 雄	〃 南町1-4-18	332	0482 51-1426
60	麗 輪 サイ ク リ ン グ ク ラ ブ	佐久木 久 美	浦和市大谷場1-15-32	336	0488 82-1912

加 盟 グ ル ー プ

	グ ル ー プ 名	連絡責任者名	住 所	郵 便 号	電 話
1	アサカサイクリングクラブ	金 子 修	朝霞市本町2-12-16	351	0484 64-1188
2	入間サイクリストユニオン	宗 象 明 広	入間市下藤沢95	358	0429 64-8175
3	岩槻サイクリングクラブ	田 中 泰 治	岩槻市本町6-1-7	339	0487 56-0132
4	浦和サイクリングクラブ	杉 山 弘	浦和市常盤3-2-20	336	0488 31-0304
5	浦和ベルフレンズクラブ	照 沼 直 孝	〃 針ヶ谷2-8-7	338	0488 31-6771
6	か ざ ぐ る ま	新 井 修	狭山市入間川3-12-11	350 -13	0429 53-8765
7	春日部サイクリングクラブ	中 村 康 人	春日部市小渕1	344	0487 52-6948
8	川口サイクリングクラブ	鶴 谷 憲 三	川口市栄町2-6-16	332	0482 52-5502
9	川口輪友サイクリングクラブ	大 竹 智 宏	〃 仲町13-14	332	0482 51-9919
10	九 関 鳥 ク ラ ブ	星 野 清	浦和市領家2-3-17	336	0488 86-2072
11	久喜サイクリストユニオン	高 田 征 洋	久喜市中央4-5-17	346	0480 21-4333
12	熊谷サイクリングクラブ	照 沼 直 行	熊谷市石原3-152	360	0485 22-0742
13	ケンメリツーリングクラブ	小 川 鉄 次	朝霞市膝折町4-16-46	351	0484 64-2031
14	越谷サイクリングクラブ	戸 張 岩 男	越谷市増林469	343	0489 62-4571
15	サイクリングクラブ地平線	中 山 裕 則	久喜市上早見599	346	0480 22-0525
16	サイクリングクラブへのへのもへじ	榎 本 実	所沢市松葉町17-3	359	0429 28-2491
17	サイクルクラブニシキ	中 山 努	大宮市櫛引町2-184	330	0486 63-6953
18	サイクルスポーツクラブ浦和	近 藤 清	浦和市上木崎1-3-28	338	0488 31-6980
19	埼玉県立浦和第一女子高等学校 サイクリング部	森 井 優 子	所沢市北野489-1	359	0429 48-3456
20	埼玉大学サイクリングクラブ	竹 内 栄 次	鴻巣市箕田976	365	0485 96-1833
21	狭山サイクリングクラブ	黒 川 昭 夫	狭山市水野545-61	350 -13	0429 59-9127
22	しらさぎサイクリングクラブ	山 崎 全	浦和市道場11-2	338	0488 52-2776
23	青年の家サイクリングクラブ	大 野 文 雄	入間市小谷田1681-1 入間青年の家内	358	0429 62-1005
24	セキネ自転車サイクリングクラブ	川 筋 洋 海	蓮田市井沼清水144	349 -01	0487 68-1881
25	草加錦サイクリングクラブ	山 田 修	草加市吉町5-6-3	340	0489 24-4056
26	草加フレンズサイクリングクラブ	大 越 賢 司	〃 中央2-7-31	340	0489 24-4016
27	たじまスポーツサイクルクラブ	田 島 稔 弘	熊谷市星川2-72	360	0485 21-3072
28	大地サイクリングクラブ	安 野 里 二	大宮市下町2-61 大宮電話局内	330	0486 44-4221
29	秩父サイクリストツツーリングクラブ	高 橋 亘	秩父市中町17-1	368	04942 2-1357
30	土合サイクリングクラブ	白 石 昭 夫	浦和市田島北1345	336	0488 61-2209

S C A の組織と運営

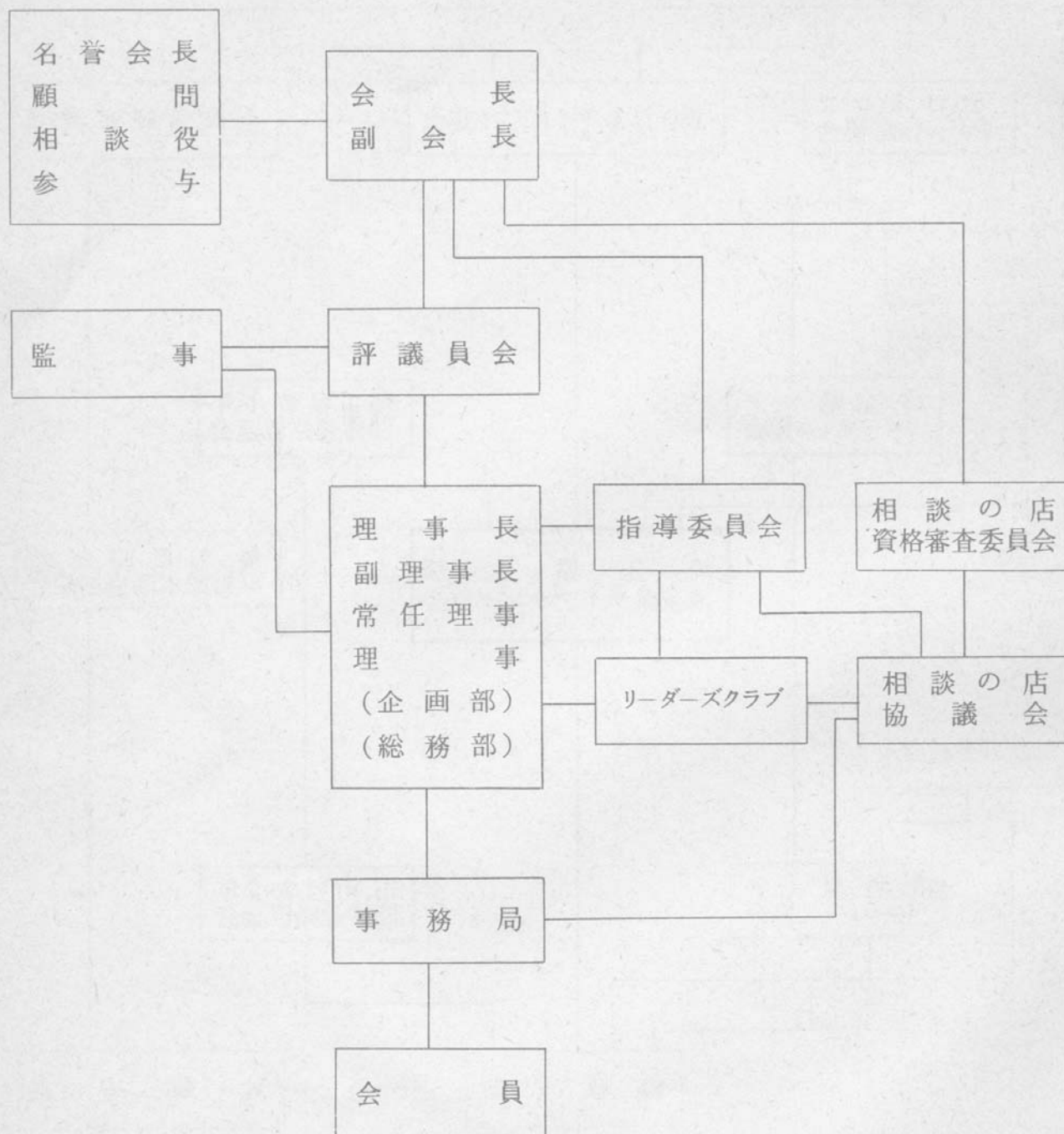
埼玉県サイクリング協会規約

- 一、 本会を埼玉県サイクリング協会（略称S・C・A・）と称する。
- 二、 本会は健全な野外活動としてのサイクリングの普及、発展および会員相互の親睦と各グループの共栄に勉めることを目的とする。
- 三、 本会の会員は次のものとする。
正会員（五名以上の登録されたサイクリング愛好者で構成するグループ）、個人会員、賛助会員。
- 四、 本会は地域によって支部を設けることができる。
- 五、 本会の事務局は浦和市岸町三丁目一七番四二号埼玉県青少年会館内に置き、事務局規定は別に定める。
- 六、 本会は次の事業を行う。
 - 一、 サイクリングの実施
 - 二、 指導者の養成
 - 三、 サイクリング知識の普及啓蒙および調査研究指導。
 - 四、 加盟各グループの連絡調整および催事の後援。
 - 五、 サイクリング相談の店の養成および育成。
 - 六、 協会会報の発行。
 - 七、 その他必要な事業。
- 七、 本会に次の役員を置く。
 - 会長一名、副会長若干名、理事長一名、副理事長若干名、常任理事若干名、理事若干名、会計二名、監事二名、評議員若干名、役員の任期は二年とし補欠による役員はその前任者の残任期間とする。
 - 会長、副会長は理事会で推挙し評議員会で決定する。理事は加盟各グループ単位二名以内とする。会長は学識経験者から理事を選出することができる。理事長、副理事長は理事の互選とする。会計は理事会で選出する。評議員は加盟各グループ単位一名とする。
 - 八、 会長は本会を代表しその運営を総理する。
 - 九、 副会長は会長を補佐し会長事故あるときはその職務を代理する。
 - 一〇、 会長は名誉会長、顧問および相談役、参与を理事会に諮り委嘱す

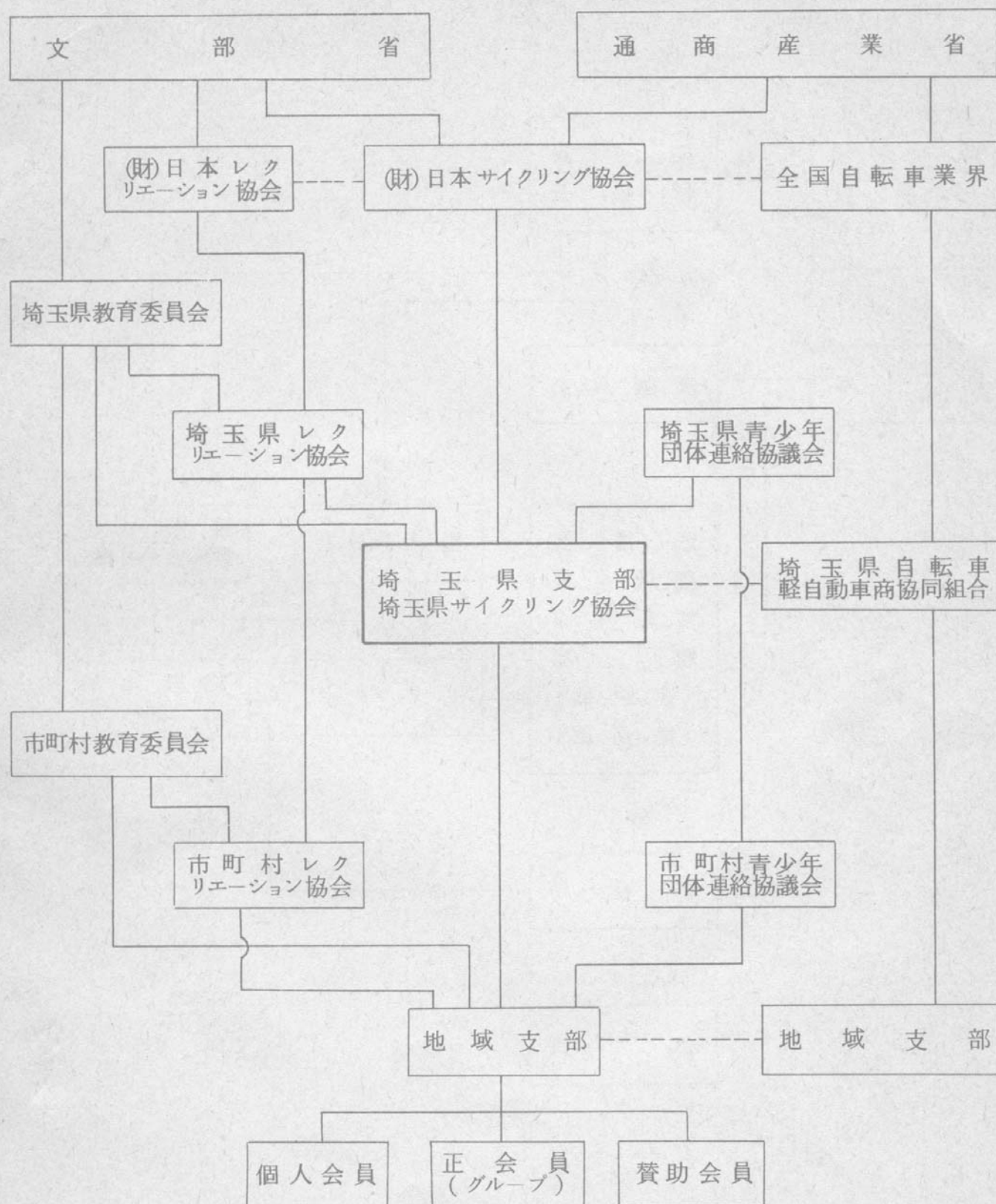
ることができる。

- 二、 評議員は評議員会を構成し本会の議決機関として次の事項を審議決定する。
 - 一、 事業計画
 - 二、 収支予算および決算
 - 三、 規約の改正
 - 四、 監事の選任
 - 五、 その他必要な事項
- 三、 理事は理事会を構成し本会の執行機関として、評議員会で決定した諸般の事項を処理し正副理事長および各部各委員会の正副長で、常任理事会を構成し本会の常務を司る。
- 三、 本会は企画部および総務部で運営する。理事はいずれかの部に所属しなければならない。
- 四、 本会は専門事項を処理するため必要あるときは、常任理事会に諮り委員会を設けることができる。委員は会長が委嘱する。会長、副会長および正副理事長は委員会に出席して発言することができる。
- 一五、 会議の議決は出席者および委任状を含め過半数を以て決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。
- 一六、 本会の経費は入会金、会費および補助金、寄附金その他の収入を以てあてる。入会金、会費の額は評議員会で決定する。
- 一七、 本会の会計年度は毎年四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る。
- 一八、 本会への入会は常任理事会の承認を必要とする。但し個人会員および賛助会員を除く。
- 一九、 会員にして本会の名誉、威信を著しく毀損した場合は、評議員会の決議によって警告或は除名することができる。
- 二〇、 その他必要な細則は理事会で定める。
- 附則
 - 一、 この規約は昭和三十一年一月二〇日から施行する。
 - 二、 この規約は一部改正し昭和四十二年三月一九日から施行する。
 - 三、 この規約は一部改正し昭和四十九年六月一日から施行する。
 - 四、 この規約は一部改正し昭和五〇年一月一日から施行する。

組 織 図



関連機関団体機構図



昭和五十一年度役員名簿

埼玉県サイクリング協会

会 長	相 川 曹 司	(企 画 部 事)	町 田 軍 次	(春日部 C・C)
副 会 長	坂 本 俊 夫	(企 画 部 事)	風 見 博 昭	(川口キョボラ C・C)
理 事 長	星 野 清	(企 画 部 事)	国 井 光 夫	(川口 C・C)
副 理 事 長	渡 辺 広 次	(企 画 部 事)	国 府 田 正 美	(川口西 C・C)
常 任 理 事	原 田 知 治	(企 画 部 事)	伊 藤 龍 司	(川口東 C・C)
(総務部長)	鶴 谷 憲 三	(企 画 部 事)	篠 田 陽 子	(九閑鳥 C)
(指導委員長)	杉 山 弘	(企 画 部 事)	石 井 直 紀	(ケンメリ T・C)
(企画副部長)	近 藤 繁 男	(企 画 部 事)	武 田 等	(シーガル C・C)
(企画副部長)	竹 内 栄 次	(企 画 部 事)	白 石 昭 夫	(土合 C・C)
(総務副部長)	中 村 康 人	(企 画 部 事)	吉 田 弘	(羽生第一 C・C)
(総務副部長)	戸 張 岩 男	(企 画 部 事)	千 葉 治	(パターンソンの隣の家)
(企画部 事)	大 畑 貞 夫	(企 画 部 事)	大 竹 雅 一	(むさしの C・C)
(企 画 部 事)	松 村 充	(企 画 部 事)	吉 田 晋	(寄居 C・C)
(企 画 部 事)	関 口 章	(企 画 部 事)	尾 上 誠 治	(らくだ C・C)
(総 務 部 事)	田 口 隆 央	(企 画 部 事)	佐々木 久 美	(麗輪 C・C)
(企 画 部 事)	大 久 保 明	(企 画 部 事)	深 谷 和 宏	(わらび C・C)
(企 画 部 事)	金 子 愛 子	(企 画 部 事)	橋 爪 徹	(浦和 C・C)
(企 画 部 事)	浜 名 仁	(企 画 部 事)	利 根 川 清	(春日部 C・C)

（理
總
務
部）事

丸山光子	伊藤育功	桃木夕美子	内藤匡志	保泉孝	坂井正広	藤下雅裕	飯塚政夫	竹内敏恭	田島征典	武田憲治	柳沼豊	板倉好幸	小川正喜	秋本清一	関一夫	阿部秀雄	川村雄豊	那須栄一
(わらびC・C)		(麗輪C・C)	(らくだC・C)	(寄居C・C)	(むさしのC・C)	(バターソンの隣の家)	(羽生第一C・C)	(土合C・C)	(シーガルC・C)	(埼玉大学C・C)	(C・Cへのへのもへじ)	(越谷C・C)	(ケンメリT・C)	(九閑鳥C)	(川口東C・C)	(川口西C・C)	(川口C・C)	(川口キュボラC・C)

普及指導員

— 45 —

SCA創立二十周年

記念事業実行委員会

委員長 星野 清
副委員長 渡邊 廣次

◆式典担当

◎鶴谷 憲三
○中村 康人

◆記念品担当

◎星野 清

◆記念誌担当

◎渡邊 廣次
○原田 知治
水野 久夫
大畑 貞夫
丸山 光子

◆写真コンテスト担当

◎近藤 繁男

◆県内モデルコースガイド担当

◎杉山 弘
○戸張 岩男

編集後記

記念誌を発行する事となり、原稿依頼をしたが締切りを過ぎ、なしのつぶてのため延び延びの締切りに、編集期間が短くなったが、連日のスタッフの努力でここまでこぎつけた。

涼しい夏もつかの間、再び戻って来た残暑が憎い。

八月某日、今日もまたSCA事務局で編集作業が続く。

今日は、今夏最高の暑さとラジオは伝えていた。